

2016年業績目録

(2016年1月～2016年12月)

大学院

硬組織疾患制御再建学講座
硬組織形態解析学

論文発表

Sahara N, Moriyama K, Iida M and Watanabe S (2016) Time and order of eruption of first functional teeth in the upper jaw of post-larval life of *Sicyopterus japonicus* (Gobiidae: Sicydiinae) during cranial metamorphosis at the time of river recruitment. *Arch Oral Biol* 66 : 8–14

学会発表

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年7月
骨髄間葉系細胞における CD91 の機能的役割 : 二宮 禎, 細矢明宏 (抄録集 : p225)
歯科基礎医学会 (第58回) 2016年8月
拔牙痕修復における間葉系幹細胞の CD91 の機能的役割 : 二宮 禎, 細矢明宏, 中村浩彰 (抄録集 : p347)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

二宮 禎, 小出雅則, 平賀 徹, 中村浩彰 : 細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1 の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究 C)
平賀 徹, 二宮 禎, 細矢明宏 : がん幹細胞マーカー分子 EpCAM の骨転移に対する機能的役割 (基盤研究 C)
小出雅則, 二宮 禎, 宇田川信之 : 歯槽骨吸収モデルを用いた RANK 様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究 C)
山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之 : 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究 C)
中村浩彰, 堀部寛治, 細矢明宏, 二宮 禎 : M2 マクロファージの修復象牙質形成への関与と新規歯髄再生療法の開発 (挑戦的萌芽研究)
雪田 聡, 茶山和敏, 中村浩彰, 二宮 禎 : 母乳中ケモカイン CCL25 が有する新生児期の骨形成促進効果のメカニズム (挑戦的萌芽研究)

硬組織疾患制御再建学

硬組織機能解析学

著 書

高橋直之 (分担執筆) (2016) 第9章 骨と脳・神経・腺臓・筋肉の相互作用 : 新骨の科学, 第2版, p239–46, 須田立雄, 小澤英浩, 高橋榮明編, 医歯薬出版, 東京

高橋直之 (分担執筆) (2016) 第1章 破骨細胞の起源と分化経路 : ファーマナビゲーター抗 RANKL 抗体編, p28–35, 松本俊夫, 田中 栄編, メディカルレビュー社, 東京

宇田川信之, 小出雅則, 中村美どり (分担執筆) (2016) 第2章 5 歯周病モデル動物における RANKL 療法 : ファーマナビゲーター抗 RANKL 抗体編, p152–9, 松本俊夫, 田中 栄編, メディカルレビュー社, 東京

論文発表

Thirukonda GJ, Uehara S, Nakayama T, Yamashita T, Nakamura Y, Mizoguchi T, Takahashi N, Yagami K, Udagawa N and Kobayashi Y (2016) The dynamin inhibitor dynasore inhibits bone resorption by rapidly disrupting actin rings of osteoclasts. *J Bone Miner Metab* 34 : 395–405

Kobayashi Y, Uehara S, Udagawa N and Takahashi N (2016) Regulation of bone metabolism by Wnt signals. *J Biochem* 159 : 387–92

Akiyama N, Takizawa N, Miyauchi M, Yanai H, Tateishi R, Shinzawa M, Yoshinaga R, Kurihara M, Demizu Y, Yasuda H, Yagi S, Wu G, Matsumoto M, Sakamoto R, Yoshida N, Penninger JM, Kobayashi Y, Inoue J and Akiyama T (2016) Identification of embryonic precursor cells that differentiate into thymic epithelial cells expressing autoimmune regulator. *J Exp Med* 213 : 1441–58

Weivoda MM, Ruan M, Hachfeld CM, Pederson L, Howe A, Davey RA, Zajac JD, Kobayashi Y, Williams BO, Westendorf JJ, Khosla S and Oursler MJ (2016) Wnt signaling inhibits osteoclast differentiation by activating canonical and noncanonical cAMP/PKA pathways. *J Bone Miner Res* 31 : 65–75

Mass E, Ballesteros I, Farlik M, Halbritter F, Günther P, Crozet L, Jacome-Galarza CE, Händler K, Klughammer J, Kobayashi Y, Gomez-Perdiguero E, Schultze JL, Beyer M, Bock C and Geissmann F (2016) Specification of tissue-resident macrophages during organogenesis. *Sci-*

ence **353** : aaf4238

Iwamoto Y, Uchida K, Sugino N, Kuroiwa H, Kitamura Y, Udagawa N, Shinohara A, Higashi Y and Taguchi A (2016) Osteoporosis, osteoporotic fractures, and carotid artery calcification detected on panoramic radiographs in Japanese men and women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* **121** : 673–80

Hao Y, Tsuruda T, Sekita–Hatakeyama Y, Kurogi S, Kubo K, Sakamoto S, Nakamura M, Udagawa N, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E, Asada Y and Kitamura K (2016) Cardiac hypertrophy is exacerbated in aged mice lacking the osteoprotegerin gene. *Cardiovasc Res* **110** : 62–72

Tsuruda T, Sekita–Hatakeyama Y, Hao Y, Sakamoto S, Kurogi S, Nakamura M, Udagawa N, Funamoto T, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E, Kato J, Asada Y and Kitamura K (2016) Angiotensin II stimulation of cardiac hypertrophy and functional decompensation in osteoprotegerin-deficient mice. *Hypertension* **67** : 848–56

Sugamori Y, Mise–Omata S, Maeda C, Aoki S, Tabata Y, Murali R, Yasuda H, Udagawa N, Suzuki H, Honma M and Aoki K (2016) Peptide drugs accelerate BMP–2–induced calvarial bone regeneration and stimulate osteoblast differentiation through mTORC1 signaling. *Bioessays* **38** : 717–25

堀部寛治, 中道裕子, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之, 中村浩彰, 菊池孝信, 平野隆雄, 佐藤敦子, 太田浩一 (2016) マコモタケ由来成分による抗炎症作用. *松本歯学* **42** : 10–5

その他学術著作物

高橋直之 (2016) 歯周炎において歯槽骨吸収はどのように引き起こされるか. *日本歯科医師会雑誌* **69** : 109–17

高橋直之, 中道裕子, 宇田川信之 (2016) ビタミンDによる骨代謝調節. *THE BONE* **30** : 323–8

宇田川信之, 小出雅則, 溝口利英, 中村美どり, 下平滋隆, 田口 明 (2016) 骨はダイナミックに躍動している. *日本顎交合学会誌* **36** : 161–70

中村美どり, 小出雅則, 宇田川信之 (2016) ビスホスホネート薬の薬物動態. *CLINICAL CALCIUM* **26** : 1561–70

小出雅則, 宇田川信之 (2016) 骨リモデリングの制御機構, 第9章 スクレロスタチンによる骨リモデリング制御. *THE BONE* **30** : 169–73

中村美どり, 中道裕子, 小出雅則, 宇田川信之 (2016) 骨リモデリングの制御機構, 第10章 オステオプロテゲリンによる骨リモデリング制御. *THE BONE* **30** : 175–80

中道裕子, 高橋直之, 宇田川信之 (2016) 歯髓細胞に関する分子生物学的研究. *腎と骨代謝* **29** : 31–40

宇田川信之 (2016) ASBMR 2016トピックス～基礎研究 (破骨細胞・骨吸収関連). *CLINICAL CALCIUM* **27** : 128–32

招待講演

第4回長野県歯科インプラントネットワークミーティング 2016年3月

再生医療新法 (再生医療等の安全性の確保等に関する法律) 施行の現状: 宇田川信之

松本歯科大学校友会東京都支部学術講演会 2016年4月

骨再生の基礎研究から臨床応用への道: 宇田川信之

第30回骨代謝研究会 2016年6月

Wnt シグナルによる骨吸収制御機構: 小林泰浩
神奈川歯科大学大学院開設40周年記念シンポジウム (横浜) 2016年7月

私立大学歯学研究科における人材養成目的と学位授与方針: 高橋直之

第3回25(OH)Dを考える会 2016年8月

25(OH)DによるCa代謝調節における骨芽細胞系列のVDRの役割: 中道裕子, 高橋直之

第13回 Bone Biology Forum 2016年8月

Regulation of bone resorption by Wnt signals: Kobayashi Y

第2回 Neo Vitamin D Workshop 学術集会 2016年8月

骨芽細胞特異的VDR欠損および破骨細胞特異的VDR欠損マウスの表現型～VDR cKOマウスを用いたエルデカルシトール (ELD) の作用効果の解析: 中道裕子

第302回東京歯科大学学会総会 2016年10月

骨は生きている—骨吸収と骨形成のカップリング機構—: 宇田川信之

Dentistry, Quo Vadis? (東京) 2016年12月

細菌と骨代謝: 高橋直之

日本私立歯科大学協会第11回教務研修会 2016年12月

歯学教育の現状と課題: 宇田川信之

学会発表

日本骨免疫学会ウインターセミナー (第1回) 2016年1月

PTHアナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 西田大輔, 小林泰浩, 松尾光一, 下田耕治, 宇田川信之, 高橋直之

生体内における骨髄間葉系幹細胞の骨芽細胞分化

機構：溝口利英，楊 孟雨，荒井 敦，小守壽文，森石武史，小守寿人，宇田川信之，高橋直之

オステオプロテゲリン欠損マウスに対するカテプシン K 阻害剤投与実験：宇田川信之，中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之

活性型ビタミン D による骨量上昇の薬理作用は，骨芽細胞系列のビタミン D 受容体 (VDR) を介して発揮される：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村貴，原田 卓，斎藤一史，小林泰浩，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之

歯槽骨吸収モデルに対する W9ペプチドの改善効果：小出雅則，尾崎友輝，古屋優理子，二宮 禎，保田尚孝，中村美どり，吉成伸夫，高橋直之，宇田川信之，吉成伸夫

春季日本歯周病学会学術大会 (第59回) 2016年 5月

W9ペプチドは OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する：尾崎友輝，小出雅則，宇田川信之，吉成伸夫

骨吸収は sclerostin の発現低下を介して骨形成を促進する：小出雅則，尾崎友輝，吉成伸夫，石原裕一，宇田川信之

骨免疫学会 (第 2 回) 2016年 7月

Wnt アンタゴニスト Sfrp5 は，関節炎による骨破壊を抑制する：小林泰浩，中村幸男，加藤博之，宇田川信之，高橋直之

オステオプロテゲリン欠損マウスに対するカテプシン K 阻害剤投与：中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之

Pkn3 は Ror2-Rho シグナルの下流で c-Src を介して破骨細胞の骨吸収を制御する：上原俊介，山下照仁，中村 貴，加藤茂明，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩

日本骨代謝学会学術集会 (第34回) & アジア太平洋骨代謝学会議 (第 3 回) 2016年 7月

Wnt5-Ror2シグナルによって活性化される Rho-PKN3経路は c-Src を介して骨吸収を調節する：上原俊介，山下照仁，中村 貴，加藤茂明，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p174, O-07)

Roles of chemokine-mediated signaling in architectural function of osteoclasts：李 智媛，星野昭芳，井上和樹，上原俊介，小林泰浩，山口 朗，今井祐記，飯村忠浩 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p130)

関節炎による Sfrp5 の発現低下は Wnt5a による骨吸収を亢進させる：中村幸男，前田和洋，加藤博之，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p178, O-24)

PTH アナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与：楊 孟雨，溝口利英，宇田川信之，松尾光一，小守壽文，森石武史，小林泰浩，高橋直之 (第34回

日本骨代謝学会プログラム抄録集：p193, O-083)

ビタミン D の骨量増加の薬理作用は，破骨細胞ではなく骨芽細胞の VDR を介する：中道裕子，溝口利英，山本陽子，中村 貴，細矢明宏，堀部寛治，原田 卓，斎藤一史，加藤茂明，須田立雄，宇田川信之，高橋直之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p181, O-035)

カテプシン K 阻害剤投与は，オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p195, O-092)

Annexin a5 による腱・韌帯付着部 (enthesis) における軟骨層の肥大化と石灰化の調節：島田明美，新井嘉則，和田悟史，出野 尚，中島和久，小松浩一郎，山下照仁，江面陽一，網塚憲生，中村芳樹，二藤 彰 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p214, P1-56)

歯科基礎医学会学術大会 (第58回) 2016年 8月

Wnt5-Ror2シグナルは Rho-PKN3-c-Src 経路を介して破骨細胞の骨吸収活性を制御する：上原俊介，山下照仁，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩 (第58回歯科基礎医学会学術大会抄録集：p268, O2-D24)

W9ペプチドのヒト破骨細胞分化抑制作用と骨芽細胞分化促進作用：中村美どり，小出雅則，山下照仁，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之 (第58回歯科基礎医学会学術大会抄録集：p305, P1-35)

The American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2016 Annual Meeting 2016年 9月

Treatment of cathepsin K inhibitor in osteoprotegerin-deficient mice inhibits bone resorption and stimulates bone formation: Nakamura M，Nakamichi Y，Mizoguchi T，Kobayashi Y，Takahashi N and Udagawa N (Journal of Bone Miner Res 31 : p344)

日本歯科医学会総会 (第23回) 2016年10月

W9ペプチドは Osteoprotegerin 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する：尾崎友輝，小出雅則，二宮 禎，中村美どり，高橋直之，宇田川信之，吉成伸夫

松本歯科大学学会 (第83回) 2016年12月

カテプシン K 阻害剤投与は，オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：宇田川信之，中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小林泰浩，高橋直之，上原俊介，山下照仁，平賀徹：Wnt シグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発 (基盤研究 A)

高橋直之, 小林泰浩, 中村浩彰, 南 康博, 宇田川信之, 荒 敏昭: 骨代謝共役を担うクラストカイン—Wnt シグナルネットワークの解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 小出雅則, 中道裕子, 中村美どり, 溝口利英, 上原俊介: 破骨細胞からの骨形成シグナルを利用した歯周病治療薬の応用開発 (基盤研究 B)

宇田川信之, 山下照仁, 小林泰浩, 上原俊介: カルシトニン中枢神経ホルモンとして出現したか (挑戦的萌芽研究)

山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之: 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究 C)

溝口利英, 小林泰浩, 中道裕子: 間葉系幹細胞が支持する破骨細胞前駆細胞ニッチの解析 (基盤研究 C)

小出雅則, 二宮 禎, 宇田川信之: 歯槽骨吸収モデルを用いた RANK 様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究 C)

中村美どり, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之: 硬組織再生におけるヒト歯髄細胞の有用性に関する研究 (基盤研究 C)

中道裕子, 宇田川信之: 非典型的 Wnt 受容体 Ryk シグナルによる骨形成および骨ミネラル代謝制御機構の解明 (基盤研究 C)

平岡行博, 山下照仁, 中道裕子: 歯周病予防に向けた病原菌の生育阻害剤の開発: その基礎的研究 (挑戦的萌芽研究)

島田明美, 二藤 彰, 和田悟史, 山下照仁: アネキシン A5 による腱・靭帯と骨付着部 (enthesis) のリモデリングの制御 (基盤研究 C)

吉成伸夫, 小出雅則, 田口 明: 血清アミロイド A を介した歯周病から動脈硬化症悪化機序に対する老化への影響 (基盤研究 C)

石原裕一, 吉成伸夫, 小出雅則: クロフィブラートの IL-1Ra 産生と実験的歯周炎抑制効果に関する研究 (基盤研究 C)

二宮 禎, 小出雅則, 中村浩彰, 平賀 徹: 細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1 の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究 C)

上原俊介, 小林泰浩, 細矢明宏: Pkn3 が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明 (基盤研究 C)

荒井 敦, 小林泰浩, 山田一尋, 溝口利英: 矯正力負荷は破骨細胞前駆細胞のオートファジーを誘導するか? (基盤研究 C)

中村浩志, 八上公利, 宇田川信之, 大須賀直人, 定岡 直, 中村美どり: 植物由来低分子ポリフェノールの骨代謝改善作用 (基盤研究 C)

齋藤直人, 佐々木克典, 樽田誠一, 宇田川信之, Kim Yoong Ahm: CNT を応用した高機能生体材料創製のための CNT・生体界面技術の構築と安全性評価 (基盤研究 A)

その他の研究助成

高橋直之, 中道裕子: 骨芽細胞および骨細胞に発現するビタミン D 受容体 (VDR) の骨ミネラル代謝および骨形成における役割 (中外製薬株式会社, 研究活動への支援 (寄付金))

高橋直之: 新規分子標的薬の作用メカニズム研究 (第一三共株式会社との共同研究)

高橋直之, 中道裕子: 25(OH)D に関する研究 (ファンケルとの共同研究)

硬組織疾患制御再建学講座

硬組織発生・再生工学

論文発表

Hiraga T, Ito S and Nakamura H (2016) Ep-CAM expression in breast cancer cells is associated with enhanced bone metastasis formation. *Int J Cancer* **138**: 1698–708

Hiraga T and Nakamura H (2016) Comparable roles of CD44v8–10 and CD44s in the development of bone metastases in a mouse model. *Oncol Lett* **12**: 2962–9

Shigetani Y, Ohkura N, Yoshiba K, Ohshima H, Hosoya A, Yoshiba N and Okiji T (2016) GaAlAs laser-induced pulp mineralization involves DMP1 and osteopontin expression. *Oral Dis* **22**: 399–405

堀部寛治, 中道裕子, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之, 中村浩彰, 菊池孝信, 平野隆雄, 佐藤敦子, 太田浩一 (2016) マコモタケ由来成分による抗炎症作用. *松本歯学* **42**: 10–5

Hirata A, Katayama K, Tsuji T, Imura H, Natsume N, Sugahara T, Kunieda T, Nakamura H and Otsuki Y (2016) Homeobox family Hoxc localization during murine palate formation. *Congenit Anom (Kyoto)* **56**: 172–9

Kagami H (2016) Potential application of tissue engineering for the reconstruction of facial bones. *Oral Dis*. doi: 10.1111/odi.12581. [Epub ahead of print]

Hori A, Agata H, Takaoka M, Tojo A and Kagami H (2016) Effect of cell seeding conditions on the efficiency of in vivo bone formation. *Int J Oral Maxillofac Implants* **31**: 232–9

Yoshizawa M, Niimi K, Sugai T, Aoyama S, Koyama T, Inoue M and Kobayashi T (2016) Cervical resorption of autotransplanted tooth with complete root formation. *JSM Dentistry* **4**: 1066

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and Kagami H (2016) Discontinuation of simvastatin

lead to a rebound phenomenon and result in immediate peri-implant bone loss. Clin Exp Dent Res 2 : 65-72

船山昭典, 三上俊彦, 長谷部大地, 芳澤享子, 小林正治 (2016) ツキノワグマによる下顎骨粉碎骨折の1例. 日口外傷誌 15 : 32-7

船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 小田陽平, 新美奏恵, 芳澤享子, 新垣 晋, 小林正治 (2016) 下顎歯肉扁平上皮癌の臨床的検討. 新潟歯学会雑誌 46 : 21-6

小林明人, 田口 明, 篠原 淳, 各務秀明 (2016) 根管充填剤の逸出に起因した上顎洞炎の1症例. 松本歯学 42(1) : 25-31

内田啓一, 落合隆永, 齋藤安奈, 杉野紀幸, 中野敬介, 長谷川博雅, 芳澤享子, 各務秀明, 田口 明 (2016) 左側頬部に発生した筋肉内脂肪腫の1例. 松本歯学 42(2) : 104-10

その他学術著作物

細矢明宏 (2016) 象牙芽細胞の分化と歯髓の硬組織形成能. 腎と骨代謝 29 : 25-30

学会発表

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会 シンポジウム3 再生医療からこれからのインプラント治療を考える (東京) 2016年2月

骨再生とは何か:細胞を用いた骨再生治療から学んだこと:各務秀明, 井上 実, 朝比奈 泉

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会 (東京) 2016年2月

自己骨髄間質細胞を用いた歯槽骨再生治療臨床研究:長期経過に関する検討:井上 実, 各務秀明, 田口 明, 朝比奈 泉

再生骨移植局所の炎症サイトカインの経時的な変化に関する検討:李 憲起, 千原隆弘, 古田浩史, 楊 静, 各務秀明

日本解剖学会総会・全国学術集会 (第121回) 2016年3月

セロトニン—セロトニントランスポーター局在から検討したセロトニン代謝と口蓋形成のメカニズム:平田あずみ, 伊藤裕子, 前村憲太郎, 中村浩彰, 大槻勝紀 (第121回日本解剖学会総会全国学術集会講演プログラム抄録集:p137, 30AmG-2)

The 57th Congress of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Gunsan, Korea 2016年4月

Tissue-engineered oral mucosa fabricated with oral keratinocyte-enriched populations of small-sized progenitor/stem cells maintains a high potential of regeneration post-grafting in mice: Yoshi-

zawa M, Koyama T, Funayama A, Mikami T and Kobayashi T

1st Congress on Tooth Transplantation, Sopot, Poland 2016年5月

A review of eight autotransplanted teeth with complete root formation: Kazuhiro I, Yoshizawa M, Yoshizawa M, Funato A, Ihyo C, Furusato M, Hayashida T and Ishii N (1st Congress on Tooth Transplantation, Programme, p12)

IADR Pulp Biology Regeneration Group Symposium 2016 2016年6月

Fibrillin-1 microfibrils influence human dental pulp regeneration: Yoshiba N, Yoshiba K, Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Hosoya A, Nakamura H and Okiji T

第40回日本頭頸部癌学会 (埼玉) 2016年6月

口腔癌患者における同時性重複癌の臨床的検討:船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 芳澤享子, 新垣 晋, 小林正治 (頭頸部癌 42(2) : 252)

第42回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会・第54回 NPO 法人日本口腔科学会北日本支部会 (山形) 2016年6月

残留した残根が顎骨内を深部へ移動した1例:金丸祥平, 芳澤享子, 船山昭典, 池 真樹子, 阿部達也, 林 孝文, 朔 敬, 小林正治

第100回日本形成外科学会関東支部新潟地方会 (新潟) 2016年7月

下顎骨区域切除術における三次元立体モデルを用いて作製したサージカルガイドの有用性:小島 拓, 加藤祐介, 長谷部大地, 三上俊彦, 芳澤享子, 小林正治

日本骨代謝学会学術集会 (第34回) 2016年7月

ビタミンDの骨量増加の薬理作用は, 破骨細胞ではなく骨芽細胞のVDRを介する:中道裕子, 溝口利英, 山本陽子, 中村 貴, 細矢明宏, 堀部寛治, 原田 卓, 斎藤一史, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之 (第34回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集:p181, O-35)

骨髄間葉系細胞におけるCD91の機能的役割:二宮 禎, 細矢明宏 (第34回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集:p225, P2-39)

歯科基礎医学会学術大会 (第58回) 2016年8月

抜歯痕修復における間葉系幹細胞のCD91の機能的役割:二宮 禎, 細矢明宏, 中村浩彰 (第58回歯科基礎医学会学術大会プログラム抄録集:p347, P1-77)

スフェロイド形成による骨髄由来間葉系幹細胞の軟骨細胞への分化誘導:中塚美智子, 細矢明宏, 隈部俊二, 田村 功 (第58回歯科基礎医学会学術大会プログラム抄録集:p472, P2-48)

第26回日本口腔内科学会 (岡山) 2016年9月

関節リウマチ患者に発症した舌難治性潰瘍の一例：新美奏恵，芳澤享子，林 孝文，小林正治（プログラム抄録集：p108）

第46回（公社）日本口腔インプラント学会学術大会（名古屋）2016年9月

ヒト抜歯後歯槽堤における骨改造現象と骨代謝活性の抜歯後期間による違い：田中みか子，三上絵美，櫻井直樹，芳澤享子，荒井良明，山田一穂，江尻貞一，小野高裕

日本歯科保存学会秋期学術集会（第145回）2016年10月

象牙芽細胞分化におけるポリコム群タンパク質 Bmi1の機能：細矢明宏，吉羽邦彦，吉羽永子，鷲尾絢子，諸富孝彦，北村知昭，山本昭夫，中村浩彰（プログラム抄録集：p43, A17-1610）

第23回歯科医学会総会シンポジウム（福岡）2016年10月

骨再生治療：基礎研究から臨床応用まで骨髄間質細胞を用いた骨再生治療：各務秀明，井上 実，朝比奈 泉，宇田川信之

第61回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉）2016年11月

T2緩和差を利用した³¹P-NMRによる非侵襲的な新生骨量・骨量測定法の開発：齊藤安奈，八上公利，高田匡基，井上 実，森 こず恵，李 憲起，田口明，各務秀明，芳澤享子，篠原 淳

第61回日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉）2016年11月

骨分化誘導と低酸素処理併用によるラット間葉系細胞の多面的骨誘導能促進効果の検討：齋藤直朗，小島 拓，須田大亮，原 夕子，芳澤享子，小林正治（プログラム抄録集：p3）

特別講演

第20回歯の発生生物学と再生に関するシンポジウム 2016年3月

ポリコム群タンパク質 Bmi1による象牙芽細胞分化調節：細矢明宏

Tenth People's Hospital Tongji University, China 2016年12月

Somatic stem cells and their application for bone tissue engineering: Kagami H

1st Congress on Tooth Transplantation, Key-Note Lectures, Sopot, Poland 2016年5月

Autotransplantation of teeth with complete root formation – from indication to prognosis: Yoshi-zawa M

講演会

総合インプラント研究センター（GIRC）学術講演

会 2016年3月

「幹細胞と再生医療—iPS細胞から歯槽骨再生まで—再生医療の基礎知識について」：各務秀明

信州大学歯科口腔外科講演会（松本）2016年6月

「歯の移植の予後予測は可能か？」：芳澤享子

新潟大学歯学部同窓会石川県支部「六華会」学術講演会（金沢）2016年10月

「歯の移植—適応症判定から予後予測まで—」：芳澤享子

松本歯科大学市民公開講座（塩尻）2017年1月

「むし歯と歯周病だけでない口の中の病気」：芳澤享子

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

平賀 徹，二宮 禎，細矢明宏：がん幹細胞マーカー分子 EpCAM の骨転移に対する機能的役割（基盤研究 C）

二宮 禎，平賀 徹，中村浩彰，小出雅則：細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析（基盤研究 C）

細矢明宏，吉羽邦彦，中村浩彰，平賀 徹，溝口利英：転写因子 Gli1陽性歯髄幹細胞の象牙質再生に対する機能解析（基盤研究 C）

中塚美智子，隈部俊二，乾 千珠子，細矢明宏，岩井康智：細胞シートを用いた下顎頭再生への試み（基盤研究 C）

中村浩彰，二宮 禎，細矢明宏，堀部寛治，雪田聡：M2マクロファージの修復象牙質形成への関与と新規歯髄再生療法の開発（挑戦的萌芽研究）

吉羽邦彦，吉羽永子，大倉直人，細矢明宏：象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明（基盤研究 B）

上原俊介，細矢明宏：Pkn3が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明（基盤研究 C）

各務秀明：次世代骨再生法開発のための基盤研究（基盤研究 B（代表））

各務秀明：凍結細胞スフィアを用いた簡便な新規 in vitro 毒性評価系評の確立（挑戦的萌芽研究（代表））

各務秀明：新たな細胞凍結技術を用いた in vitro 試験システムの開発（挑戦的萌芽（分担））

各務秀明：Direct Conversion 誘導基質による臍帯由来細胞からの骨再生法の開発（基盤研究 B（分担））

芳澤享子：口腔粘膜上皮前駆／幹細胞による粘膜再生機構の解明—血管新生の意義—（基盤研究 C（代表））

芳澤享子：間葉系幹細胞の移植後動態と骨再生能の解析—骨髄と脂肪組織の比較—（基盤研究 C（分担））

芳澤享子：より均一な口腔粘膜上皮前駆／幹細胞による凍結培養粘膜の開発（基盤研究 C（分担））

芳澤享子：mTOR 阻害剤による口内炎の発症（機

序の解明 C (分担)

硬組織疾患制御再建学
遺伝子工学・分子創薬学

著 書

今村泰弘 (分担執筆) (2016) 徹底レクチャー 唾液・唾液腺 第Ⅱ章 唾液の検査 3 唾液検査とその有用性, p62-6, 金原出版, 東京

論文発表

Sogawa C, Ikegame M, Miyazaki I, Ara T, Imamura Y, Okusha Y, Ohya K, Asanuma M, Sogawa N, Yamamoto T and Kozaki K (2016) Changes in metallothionein isoform expression in the bones of ovariectomized rats. J Hard Tissue Biol 25(1) : 21-6

Ara T and Sogawa N (2016) Studies on shokyo, kanzo, and keihi in kakkonto medicine on prostaglandin E₂ production in lipopolysaccharide-treated human gingival fibroblasts. Int Sch Res Notices: 9351787

Imamura Y, Wang PL, Masuno K and Sogawa N (2016) Salivary protein histatin 3 regulates cell proliferation by enhancing p27Kip1 and heat shock cognate protein 70 ubiquitination. Biochem Biophys Res Commun 470(2) : 269-74

牧 茂, 荒 敏昭, 竹内由里, 岩井由紀子, 吉成伸夫, 佐藤 晶, 前島信也 (2016) 現在歯数の関連する因子—特に生理学的, 血液生化学的, 栄養学的視点から—. 松本歯学 42 : 16-22

学会発表

第89回日本薬理学会年会 (横浜) 2016年3月
The mechanism of antiinflammatory effect of kakkonto: Ara T and Sogawa N (抄録集 : 2-P-118)

第82回松本歯科大学学会 2016年7月
Porphyromonas gingivalis の硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析 : 塩屋幸樹, 中村卓, 平岡行博, 吉成伸夫, 吉田明弘

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

マウスにおける *Porphyromonas gingivalis* の硫化水素産生酵素による生体反応の解析 : 塩屋幸樹, 平岡行博, 吉田明弘 (抄録集 : p544)

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

唾液ヒスタチンとペプチドグリカンの結合による

Toll様受容体2シグナルへの影響 : 今村泰弘, 王宝禮, 十川紀夫 (抄録集 : p459)

第23回日本歯科医学会総会 (福岡) 2016年10月
プラセンタ (胎盤製剤) の歯周病治療有効性への基礎医学的解明 : 廣田 健, 今村泰弘, 中村弘江, 益野一哉, 王 宝禮

特別講演

岡山大学歯学部岡山歯学会 特別講演 2016年10月

金属結合蛋白質メタロチオネイン研究のこれまでとこれから : 十川紀夫

講演会

岡山大学歯学部同窓会岡山県支部セミナー 2016年1月

薬理学からみた関白亭主の発言「飯!○○寝る!」 : 十川紀夫

松本歯科大学校友会岡山県支部学術講演会 2016年8月

摂食・睡眠にまつわる薬のサイエンス : 十川紀夫

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

平岡行博, 山下照仁, 中道裕子 : 歯周病予防に向けた病原菌の生育阻害剤の開発 : その基礎的研究 (挑戦的萌芽 (代表))

十川紀夫 : 神経伝達物質トランスポーター阻害効果に着目した新規神経障害性疼痛治療薬の開発 (基盤研究 C (分担))

荒 敏昭 : 骨代謝共役を担うクラスロカイン-Wntシグナルネットワークの解明 (基盤研究 B (分担))

今村泰弘 : 唾液ヒスタチンによるインフルエンザウイルス感染とその誘導性炎症の抑制機構解明 (基盤研究 C (代表))

その他の研究補助金による研究

十川紀夫 : ニコチンによるノルアドレナリントランスポーター発現調節機構の解明 (喫煙科学研究財団研究助成金 (共同研究者))

硬組織疾患制御再建学
硬組織疾患病態解析学

論 文

Sakai K, Nakano K, Matsuda S, Tsujigiwa H,

Ochiai T, Shoumura M, Osuga N, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Pathological analysis of cell differentiation in cholesterol granulomas experimentally induced in mice. *Int J Med Sci* **13** : 220–4

篠塚功一, 小笠原 正, 岩崎仁史, 磯野員達, 轟かほる, 岡田芳幸, 靛島弘之, 沈 發智, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 経管栄養の要介護者にみられる咽頭付着物の形成要因. *障歯誌* **37** : 22–7

古田浩史, 八上公利, 北村 豊, 森 こず恵, 落合隆永, 内田啓一, 田口 明, 篠原 淳 (2016) 治癒が得られた上顎のデノスマブ関連顎骨壊死の1例. *日口診誌* **29** : 98–103

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. *Int J Med Sci* **13** : 500–6

Matsuoka S, Fujikawa H, Hasegawa H, Ochiai T, Watanabe Y and Moriyama M (2016) Onset of tuberculosis from a pulmonary latent tuberculosis infection during antiviral triple therapy for chronic hepatitis C. *Intern Med* **55** : 2011–7

Ueda Y, Nakano K, Ochiai T, Yoshida W, Sugita Y, Kubo K, Maeda H, Hasegawa H and Kawakami T (2016) A possible functional role of HSP27 as a molecular chaperon of Wnt1 in cell differentiation of pleomorphic adenomas. *Int J Dent Oral Sci* **3** : 340–3

Mimura H, Takaya T, Matsuda S, Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T and Kawakami T (2016) Functional role of HSP47 in the periodontal ligament subjected to occlusal overload in mice. *Int J Med Sci* **13** : 248–54

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatsuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal ligament inflammatory lesions. *Int J Dent Oral Sci* **S9** : 001, 1–7

内田啓一, 落合隆永, 斉藤安奈, 杉野紀幸, 中野敬介, 長谷川博雅, 芳澤享子, 各務秀明, 篠原 淳, 田口 明 (2016) 左側頬部に発生した筋肉内脂肪腫の1例. *松本歯学* **42** : 104–10

山田真一郎, 内田啓一, 高田匡基, 嶋田勝光, 落合隆永, 杉野紀幸, 長谷川博雅, 各務秀明, 田口 明 (2016) 上顎洞内に広範に進展した Keratocystic Odontogenic Tumor の1例. *松本歯学* **42** : 111–7

Hiraga T, Ito S and Nakamura H (2016) EpCAM expression in breast cancer cells is associated with enhanced bone metastasis formation. *Int J Cancer* **138** : 1698–708

Hiraga T (2016) Targeted agents in preclinical and early clinical development for the treatment of cancer bone metastases. *Expert Opin Investig Drugs* **25** : 319–34

Hiraga T and Nakamura H (2016) Comparable roles of CD44v8–10 and CD44s in the development of bone metastases in a mouse model. *Oncol Lett* **12** : 2962–9

学会発表

American (45th) and Canadian (40th) Association for Dental Research, Los Angeles, CA, USA 2016年3月

Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T: HSP70 expression as recovery reaction in the mouse periodontal tissues (Abstract #1429; Web Abstract; <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/56320>; <https://aadr2016.zerista.com/event/member/238712>)

日本病理学会総会 (第105回) (仙台) 2016年5月
多形腺腫の Wnt による細胞分化における HSP の分子シャペロンとしての可能性: 中野敬介, 上田優貴子, 杉田好彦, 久保勝俊, 前田初彦, 川上敏行, 松田寛之, 迂 松, 長塚 仁 (日病会誌 **105**(1) : 423, 2016)

日本骨代謝学会学術集会 (第34回) 2016年7月
がん骨転移形成における CD44v8–10 と CD44s の機能比較: 平賀 徹 (第34回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集: p182, O–132)

日本癌学会学術総会 (第75回) 2016年10月
EpCAM は乳がん細胞の癌幹細胞様および上皮細胞様形質の発現を介し骨転移を促進する: 平賀 徹 (第75回日本癌学会学術総会プログラム抄録集: p148, J–2064)

日本骨軟部腫瘍研究会 (第56回) 2016年6月
下顎骨病変: 落合隆永, 嶋田勝光, 保坂典子, 長谷川博雅 (プログラム抄録集: p6)

松本歯科大学学会 (第82回) 2016年7月
口腔扁平苔癬の Transglutaminase と Small proline-rich protein の局在: 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅 (松本歯学 **42** : 211)

経管栄養の要介護高齢者にみられる口腔の剥離上皮膜と咽頭付着物の由来: 宮原康太, 篠塚功一, 岩崎仁史, 鈴木貴之, 伊沢正行, 嶋田勝光, 落合隆永, 岡田芳幸, 靛島弘之, 長谷川博雅, 小笠原 正 (松本歯学 **42** : 213)

日本臨床口腔病理学会 (第27回) 2016年8月
Cornified cell envelope related proteins in ghost cells: Ochiai T, Shimada K and Hasegawa H (プログラム抄録集: p162)

エナメル上皮線維腫における Wnt の免疫組織化学

的検討：中野敬介，高島清文，浜田芽衣，藤井昌江，吉田和加，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，川上敏行，長塚 仁（プログラム抄録集：p163）

下顎歯肉にみられた形質芽球性リンパ腫の1例：大野淳也，東理頼亮，赤柴 竜，水谷太尊，山蔦毅彦，山口 晃，土持 眞，落合隆永，長谷川博雅，岡田康男（プログラム抄録集：p172）

口腔扁平苔癬における上皮の異常角化：small proline rich protein と transglutaminase の局在：嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅（プログラム抄録集：p180）

硬組織再生生物学会総会（25回）2016年8月

ラット皮下組織における吸収性縫合糸に対する組織反応：中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（*J Hard Tissue Biol* 25：400，2016；プログラム抄録集：p42）

コレステリン肉芽腫における骨髄由来の血管内皮細胞の増殖：松田紗衣佳，中野敬介，正村正仁，大須賀直人，落合隆永，辻極秀次，長塚 仁，長谷川博雅，川上敏行（*J Hard Tissue Biol* 25：400（プログラム抄録集：p43））

歯科基礎医学会（第58回）2016年8月

角化嚢胞性歯原性腫瘍の角化機序：落合隆永，中野敬介，長谷川博雅（プログラム抄録集：p521）

中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行：吸収性縫合糸に対するラット皮下組織の反応（*J Oral Biosci* 58(S)：385，2016）

日本口腔科学会中部地方部会（第59回）2016年9月

多形腺腫における Wnt シグナルと細胞分化：上田優貴子，中野敬介，鳥井 康，吉田和加，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（プログラム抄録集：p28）

口腔扁平苔癬における上皮の角化異常：周辺帯形成基質と架橋酵素の局在：嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅（プログラム抄録集：p29）

骨髄間葉細胞由来の血管内皮細胞の実験的コレステリン肉芽腫における増殖：松田紗衣佳，中野敬介，正村正仁，大須賀直人，落合隆永，辻極秀次，長塚 仁，長谷川博雅，川上敏行（プログラム抄録集：p33）

歯科矯正学的メカニカルストレスによる歯周組織の改造：金子圭子，松田紗衣佳，村岡理奈，中野敬介，富田美穂子，辻極秀次，長塚 仁，川上敏行（プログラム抄録集：p25）

メカニカルストレスが惹起するマウス歯根膜の傷害と回復における HSP70 の発現推移：村岡理奈，中野敬介，山田一尋，川上敏行（プログラム抄録集：p25）

実験的咬合性外傷部の歯根膜組織における HSP47 の発現推移：三村泰亮，高谷達夫，中野敬介，松田紗衣佳，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行

（プログラム抄録集：p26）

実験的咬合性外傷の歯根膜部における創傷と治癒：高谷達夫，三村泰亮，松田紗衣佳，中野敬介，辻極秀次，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p27）

歯髓における傷害反応とその回復における HSP の発現：齊藤進之介，鍋山篤史，中野敬介，岡藤範正，川上敏行（プログラム抄録集：p28）

吸収性縫合糸に対するラットにおける組織反応の病理組織学的検討：中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（プログラム抄録集：p29）

Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine, Torino, Italy (13th) 2016年9月

Cornified cell envelope related proteins in odontogenic tumors: Ochiai T, Shimada K and Hasegawa H (*Oral disease* 22(S2)：12-3)

Small proline-rich proteins in keratocystic odontogenic tumor: Shimada K, Ochiai T and Hasegawa H (*Oral disease* 22(S2)：40)

Cell migration and differentiation of BMDCs into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (A07: *Oral Dis* 22(S2)：11, 2016)

HSP70 in recovery of the mouse PDL by mechanical stress: Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T (A12: *Oral Dis* 22(S2)：12, 2016)

Notch act as cell differentiation factor in pleomorphic adenomas: Kawakami T, Nakano K, Ochiai T, Sugita Y, Kubo K, Maeda H and Hasegawa H (B091: *Oral Dis* 22(S2)：34, 2016)

日本口腔診断学会学術大会（第29回）2016年9月

二次的に嚢胞性変化を認めた下顎線維性異形成症の1例：森 啓，内田啓一，落合隆永，杉野紀幸，石原裕一，富田美穂子，吉成伸夫，田口 明（*日口診誌* 30：145，2017）

日本障害者歯科学会総会学術集会（第33回）2016年9月

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭付着物は何か？：樋口雄大，篠塚功一，宮原康太，轟 かほる，藤田恵未，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，藤井航，柿木保明，大野友久，角 保徳，岡田芳幸，靱島弘之，小笠原 正（*障歯誌* 37：248）

口腔の剥離上皮膜がみられる患者にカンジダ菌は存在するか？—病理学的・細菌学的検討—：宮原康太，篠塚功一，石原紀彰，松村康平，久野 喬，塚田久美子，福澤雄司，井上恭代，副島之彦，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，岡田芳幸，靱島弘之，小笠原 正（*障歯誌* 37：249）

日本病理学会秋季特別大会（第62回）2016年11月

正常顎下腺における mammaglobin 産生細胞の分

布：嶋田勝光，落合隆永，川上敏行，長谷川博雅
(Program P4；日病会誌 105(2)：79)

口腔外科学会総会（第61回）2016年11月

多形腺腫において HSP27が Wnt1の分子シャペロンとしての機能的役割の可能性：上田優貴子，中野敬介，落合隆永，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（日口外誌 62(S)：275）

日本矯正歯科学会大会（第75回）（徳島）2016年11月

歯科矯正学的メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜における HSP70の免疫組織化学的発現推移：村岡理奈，中野敬介，川上敏行，山田一尋（プログラム抄録集：p187）

日本病理学会秋期特別総会（第62回）（金沢）2016年11月

P1-14. 正常顎下腺における mammaglobin 産生細胞の分布：嶋田勝光，落合隆永，川上敏行，長谷川博雅（Program P4；日病会誌 105(2)：79，2016）

日本口腔外科学会総会（61回）（千葉）2016年11月
多形腺腫において HSP27が Wnt1の分子シャペロンとしての機能的役割の可能性：上田優貴子，中野敬介，落合隆永，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（日口外誌 62(S)：275，2016）

日本肝臓学会東部会（第41回）2016年12月

脾臓低形成を背景に連続肝生検で多彩な病理像を呈した PBC hepatitic form の1例：藤川博敏，宮川浩，長谷川博雅，渡邊幸信，有間修平，藤井徹郎，堤 葉津子，三浦隆生，宇野昭毅，松岡俊一，森山光彦

当院で経験した重症型自己免疫性肝炎の3例：藤井徹郎，藤川博敏，三浦隆生，長谷川博雅，松岡俊一，森山光彦，菊池健太郎，宮川 浩，斎藤 聡，中島 淳

講演

第19回癌と骨病変研究会 2016年11月
がん幹細胞—骨髄ニッチ間相互作用を介した骨転移機構：平賀 徹

日本口腔科学会中部地方部会（59回）（塩尻）2016年9月

歯周組織の傷害と修復のメカニズム—発生生物学の視点から—：川上敏行（プログラム抄録集：p13）

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

長谷川博雅，中野敬介，落合隆永：顎骨部腫瘍の形質発現に関わる分子病理（基盤研究 C）

落合隆永：顎骨部病変の形質発現と形態変化に関わる分子病理（若手研究 B）

小笠原 正，落合隆永，長谷川博雅：要介護者の

口腔内にみられる付着物の病態解明と除去効果に関する研究（基盤研究 C）

平賀 徹，二宮 禎，細矢明宏：がん幹細胞マーカー分子 EpCAM の骨転移に対する機能的役割（基盤研究 C）

二宮 禎，平賀 徹，中村浩彰，小出雅則：細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析（基盤研究 C）

細矢明宏，吉羽邦彦，中村浩彰，平賀 徹，溝口利英：転写因子 Gli1陽性歯髄幹細胞の象牙質再生に対する機能解析（基盤研究 C）

小林泰浩，平賀 徹，高橋直之，山下照仁，上原俊介：Wnt シグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発（基盤研究 A）

川上敏行，中野敬介，富田美穂子，辻極秀次：骨髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細胞分化の分子調節機構の解明（基盤研究 C）

中野敬介，川上敏行，辻極秀次，村岡理奈：骨髄幹細胞を用いた組織修復およびリモデリングの促進とその分子調節機構の解明（基盤研究 C）

富田美穂子，川上敏行，寺田智新：ストレスによる生体反応が痛覚伝導路に与える影響（基盤研究 C）

正村正仁，中野敬介，辻極秀次，川上敏行，大須賀直人：象牙質歯髄複合体の修復における骨髄間葉系細胞の関与（基盤研究 C）

硬組織疾患制御再建学講座

生体材料学

著書

永澤 栄（分担執筆）（2016）スタンダード歯科理工学 第6版 学建書院

論文発表

Ito K, Turcotte R, Cui J, Zimmerman SE, Pinho S, Mizoguchi T, Arai F, Runnels JM, Alt C, Teruya-Feldstein J, Mar JC, Singh R, Suda T, Lin CP, Frenette PS and Ito K (2016) Self-renewal of a purified Tie2+ hematopoietic stem cell population relies on mitochondrial clearance. Science 354 : 1156-60

Thirukonda GJ, Uehara S, Nakayama T, Yamashita T, Nakamura Y, Mizoguchi T, Takahashi N, Yagami K, Udagawa N and Kobayashi Y (2016) The dynamin inhibitor dynasore inhibits bone resorption by rapidly disrupting actin rings of osteoclasts. J Bone Miner Metab 34 : 395-405

特別講演

SKIP (Stem cell Knowledge and Information Portal) セミナー (第26回) 2016年2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

第29回日本軟骨代謝学会 2016年2月

発生過程における骨髄間葉系幹細胞の起源: 溝口利英

口腔医学科学フロンティア研究会 (第1回) 2016年2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

日本炎症再生医学会2016年6月 (第37回)

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年7月

破骨細胞と骨芽細胞の起源: 溝口利英

歯科基礎医学会学術大 (第58回) 2016年8月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の解析: 溝口利英

Craniofacial and Stem Cell Biology Seminar (第2回) ECM Society (第153回) 2016年10月

生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と制御機構の解析: 溝口利英

学会発表

日本骨免疫学会ウインターセミナー (第1回) 2016年1月

PTH アナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 西田大輔, 小林泰浩, 松尾光一, 下田耕治, 宇田川信之, 高橋直之

生体内における骨髄間葉系幹細胞の骨芽細胞分化機構: 溝口利英, 楊 孟雨, 荒井 敦, 小守壽文, 森石武史, 小守寿人, 宇田川信之, 高橋直之

オステオプロテゲリン欠損マウスに対するカテプシン K 阻害剤投与と実験: 宇田川信之, 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之

活性型ビタミン D による骨量上昇の薬理作用は, 骨芽細胞系列のビタミン D 受容体 (VDR) を介して発揮される: 中道裕子, 溝口利英, 山本陽子, 中村貴, 原田 卓, 斎藤一史, 小林泰浩, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年7月

PTH アナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 宇田川信之, 松尾光一, 小守壽文, 森石武史, 小林泰浩, 高橋直之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p193, O-083)

ビタミン D の骨量増加の薬理作用は, 破骨細胞ではなく骨芽細胞の VDR を介する: 中道裕子, 溝口利英, 山本陽子, 中村 貴, 細矢明宏, 堀部寛治,

原田 卓, 斎藤一史, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p181, O-035)

カテプシン K 阻害剤投与は, オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて, 骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す: 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p195, O-092)

第46回日本口腔インプラント学会学術大会 2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリューピンの効果について—非線形有限要素法による解析—: 永澤 栄, 竹内 賢, 新村弘子, 黒岩昭弘

日本補綴歯科学会平成28年度東海支部学術大会 2016年11月

CAD/CAM 用 レジンブロックとレジンセメントとの接着における問題点: 岡崎耕典, 中村典正, 三溝恒幸, 永澤 栄, 黒岩昭弘

松本歯科大学学会 (第83回) 2016年12月

カテプシン K 阻害剤投与は, オステオプロテゲリン欠損マウスにおいて, 骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す: 宇田川信之, 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

溝口利英, 小林泰浩, 中道裕子: 間葉系幹細胞が支持する破骨細胞前駆細胞ニッチの解析 (基盤研究 C)

その他の研究助成

溝口利英: 血管内皮細胞を標的とした代謝性骨疾患治療法の開発 (三井生命厚生財団, 医学研究助成)

受託研究

永澤 栄: アバットメントスクリューの緩み防止性能の解析 (株式会社松風)

硬組織疾患制御再建学

臨床病態評価学

著 書

山田一尋 (分担執筆) (2016) すぐひらける, 現場で役立つ歯科衛生士のためのポケット版最新歯科用語辞典, 編集者「栢 豪洋, 升井一郎, 石川隆義, 玄 景華, 小菅直樹, 雫石 聡, 濱元和美, 本間和代, 鱒見進一」 p10, 19, 35, 47, 71, 79, 83, 109, 113, 122, 140, 168, 174, 175, 176, 186, 194, 202, 204,

223, 245, 248, 260, 261, 278, 292, 293, 298, 306, 313, 333, 335, クインテッセンス出版, 東京

論文発表

Kaede K, Kato T, Yamaguchi M, Nakamura N, Yamada K and Masuda Y (2016) Effects of lip-closing training on maximum voluntary lip-closing force during lip pursing in healthy young adults. *J Oral Rehabil* **43** : 69–75

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Kibayashi K, Sakurada K and Uemura K (2016) Pilot study to establish a nasal tip prediction method from unknown human skeletal remains for facial reconstruction and skull photo superimposition as applied to a Japanese male populations. *J Forensic Leg Med* **38** : 75–80

影山 徹, 山田一尋 (2016) 「三大学の臨床は今—基礎的・臨床的研究を踏まえ—」松本歯科大学で行われている基礎・臨床研究を踏まえて実践する臨床の現状. 甲北信越矯正歯科学会雑誌 **24** : 11–7

Takahashi M, Uchida K, Yamada S, Sugino S, Higashi Y, Yamada K and Taguchi A (2016) Association between number of teeth present and mandibular cortical erosion in Japanese men and women aged 40 years and older: A cross-sectional study. *Osteoporosis and Sarcopenia* **2** : 250–5

本藤景子, 山田一尋 (2016) 下顎骨側方偏位量と骨格性下顎前突者のスマイル時の口唇運動と正面顎顔面骨格形態の関連. *Orthodontic Waves—Japanese Edition* **75** : 89–96

星野正憲, 山田一尋 (2016) 骨格性下顎前突者における主機能部位. *Orthod Waves Jpn Ed* **76** : Accepted

徳田吉彦, 唐澤基央, 影山 徹, 山田一尋 (2016) 松本歯科大学病院矯正歯科における顎変形症患者の臨床統計的検討. *松本歯学* **43** : Accepted

Koide D, Yamada K, Yamaguchi A, Kageyama T and Taguchi A (2016) Morphological changes in the temporomandibular joint after orthodontic treatment for Angle Class II malocclusion. *Cranio* **35** : Accepted

Takehana Y, Masuda Y, Kageyama T, Okazaki R, Murakami M and Yamada K (2016) The relationship between lip-closing force and dental arch morphology in patients with Angle Class I malocclusion. *J Oral Rehabil* **44** : Accepted

Luo T, Liu H, Feng W, Liu D, Du J, Sun J, Wang W, Han X, Guo J, Amizuka N, Li X and Li M (2016) Adipocytes enhance the expression of osteoclast adhesion-related molecules through CXCL12/CXCR4 signaling pathway. *Cell Prolif.*

doi: 10.1111/cpr.12317

Nakamura Y, Suzuki T, Kamimura M, Ikegami S, Murakami K, Uchiyama S, Kato H and Taguchi A (2016 in press) Two-year clinical outcome of denosumab treatment alone and in combination with teriparatide in Japanese treatment-naive osteoporotic patients. *Bone Res*

Khan AA, Morrison A, Hanley DA, Felsenberg D, McCauley LK, O’Ryan F, Reid IR, Ruggiero S, Taguchi A, Tetradis S, Watts NB, Brandi ML, Peters E, Guise T, Eastell R, Cheung AM, Morin S, Masri B, Cooper C, Morgan S, Obermayer-Pietsch B, Langdahl BL, Al Dabagh R, Davison KS, Kendler D, Sándor GK, Van Poznak C, Josse RG, Bhandari M, El Rabbany M, Pierroz D, Sulimani R, Saunders D, Brown JP (2016 published online) Compston J on behalf of the International Task Force on Osteonecrosis of the Jaw. *J Clin Densitom* **20** : 8–24

Yoneda T, Hagino H, Sugimoto T, Ohta H, Takahashi S, Soen S, Taguchi A, Nagata T, Urade M, Shibahara T and Toyosawa S (2016 published online) Anti-resorptive agent-related osteonecrosis of the jaw: Position Paper 2017 of the Japanese Allied Committee on Osteonecrosis of the Jaw. *J Bone Miner Metab* **35** : 6–19

Nakamura T, Fukunaga M, Nakano T, Kishimoto H, Ito M, Hagino H, Sone T, Taguchi A, Tanaka S, Ohashi M, Ota Y and Shiraki M (2016 published online) Efficacy and safety of once-yearly zoledronic acid in Japanese patients with primary osteoporosis: Two-year results from a randomized placebo-controlled double-blind study (ZOledro Nate treatment in Efficacy to osteoporosis; ZONE Study). *Osteoporos Int* **28** : 389–98

Kamimura M, Nakamura Y, Ikegami S, Uchiyama S, Kato H and Taguchi A (2016 published online) Significant improvement of bone mineral density and bone turnover markers by denosumab therapy in bisphosphonate-unresponsive patients. *Osteoporos Int* **28** : 559–66

Taguchi A, Kamimura M, Sugino N, Uchida K, Kitamura Y, Ikegami S, Nakamura Y, Uchiyama S and Kato H (2016) Association of self-reported height loss and kyphosis with loss of teeth in Japanese elderly. *Oral Health Dent Manag* **15** : 69–74

Iwamoto Y, Uchida K, Sugino N, Kuroiwa H, Kitamura Y, Udagawa N, Shinohara A, Higashi Y and Taguchi A (2016) Osteoporosis, osteoporotic fractures, and carotid artery calcification detected on panoramic radiographs in Japanese men and women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Ra-*

diol 121 : 673–80

Taguchi A, Shiraki M, Sugimoto T, Ohta H, Soen S for the Japan Osteoporosis Society (2016) Lack of cooperation between physicians and dentists during osteoporosis treatment may increase both fractures and osteonecrosis of the jaw in Japan. *Curr Med Res Opin* 32 : 1261–8

Kamimura M, Nakamura Y, Sugino N, Uchiyama S, Komatsu M, Ikegami S, Kato H and Taguchi A (2016) Associations of self-reported height loss and kyphosis with vertebral fractures in Japanese women 60 years and older: a cross-sectional survey. *Sci Rep*: 6; 6: 29199. doi: 10.1038/srep29199

Ariji Y, Katsumata A, Taguchi A, Fujita H and Ariji E (2016) Factors affecting on observer agreement in morphological evaluation of mandibular cortical bone on panoramic radiographs. *Oral Radiol*. doi: 10.1007/s11282-016-0253-9

勝又明敏, 藤田廣志, 田口 明, 有地淑子, 有地榮一郎 (2016) 骨粗鬆症スクリーニングのためのコンピュータによる下顎骨下縁皮質骨 X 線画像解析法. *口科誌* 65 : 256–63

Taguchi A, Kamimura M, Nakamura Y, Sugino N, Ichise A, Maezumi H, Fukuzawa K, Ashizawa R, Takahara K, Gushiken S, Mukaiyama K, Ikegami S, Uchiyama S and Kato H (2016) Delayed wound healing after tooth extraction and self-reported kyphosis in Japanese men and women. *Sci Rep*: 16; 6: 36309. doi: 10.1038/srep36309

米田俊之, 萩野 浩, 杉本利嗣, 太田博明, 高橋俊二, 宗園 聡, 田口 明, 永田俊彦, 浦出雅裕, 柴原孝彦, 豊澤 悟 (2016) 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態と管理. 顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016 : 1–16

宇田川信之, 小出雅則, 溝口利英, 中村美どり, 下平滋隆, 田口 明 (2016) 骨はダイナミックに躍動している. *顎咬合誌* 36 : 161–70

田口 明 (2016) 顎骨と骨粗鬆症: 臨床的視点から. *JJOS* 2 : 343–8

大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 藤井健夫, 田口 明 (2016) 抜歯により発生した広範囲な皮下縦隔気腫の 1 例. *日総歯誌* 8 : 70–3

小林明人, 田口 明, 篠原 淳, 各務秀明 (2016) 根管充填剤の逸出に起因した上顎洞炎の 1 症例. *松本歯学* 42 : 25–31

内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 富田美穂子, 藤井建夫, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明 (2016) 病理組織学的に側方性歯周嚢胞と診断された 1 例. *日総歯誌* 8 : 74–7

古田浩史, 八上公利, 北村 豊, 森 こそ恵, 落合

隆永, 内田啓一, 田口 明, 篠原 淳 (2016) 治癒が得られた上顎のデノスマブ関連顎骨壊死の 1 例. *日口診誌* 29 : 98–103

内田啓一, 落合隆永, 斎藤安奈, 杉野紀幸, 中野敬介, 長谷川博雅, 芳澤享子, 各務秀明, 篠原 淳, 田口 明 (2016) 左側頬部に発生した筋肉内脂肪腫の 1 例. *松本歯学* 42 : 104–10

山田真一郎, 内田啓一, 高田匡基, 嶋田勝光, 落合隆永, 杉野紀幸, 長谷川博雅, 各務秀明, 田口 明 (2016) 上顎洞内に広範囲に伸展した Keratocystic Odontogenic Tumor の 1 例. *松本歯学* 42 : 111–7

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and Kagami H (2016) Discontinuation of simvastatin lead to a rebound phenomenon and result in immediate peri-implant bone loss. *Clin Exp Dent Res* 2 : 65–72

Mimura H, Takaya T, Matsuda S, Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T and Kawakami T (2016) Functional role of HSP47 in the periodontal ligament subjected to occlusal overload in mice. *Int J Med Sci* 13(4) : 248–54

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. *Int J Med Sci* 13(7) : 500–6

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatsuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal ligament inflammatory lesions. *Int J Dent Oral Sci* S9 : 001, 1–7

駒崎佑介, 薄井陽平, 高谷達夫, 岡藤範正 (2016) 上顎左側側切歯の形成不全と犬歯の萌出遅延を伴う Angle II 級症例. *甲北信越矯歯誌* 24(1) : 78–82

学会発表

American (45th) and Canadian (40th) Association for Dental Research 2016 (AADR/CADR) Annual Meeting & Exhibition, Los Angeles, CA, USA 2016年3月

HSP70 expression as recovery reaction in the mouse periodontal tissues: Muraoka R, Nakano K, Matsuda H, Kurata K, Yamada K and Kawakami T (Abstract #1429; Web Abstract: <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/56320>) (Web Abstract: <https://aadr2016.zerista.com/event/member/238712>)

口すぼめ運動の方向別難易度一口唇トレーニングシステムの開発に向けて—: 竹花快恵, 山田一尋, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会第56回学術大会プログラム事前抄録集 : p32–3, 2016 ; 日本顎口腔機能学

会雑誌 23(1) : 46-7)

甲北信越矯正歯科学会大会 (第31回) 2016年7月
松本歯科大学病院矯正科における過去18年間の口唇裂・口蓋裂患者に関する臨床統計学的研究：村上剛一, 倉田和之, 杠 俊介, 藤田研也, 影山 徹, 山田一尋 (甲北信越矯正歯科学会雑誌 24(1) : P103)

松本歯科大学病院矯正科における顎変形症患者の臨床統計的検討：徳田吉彦, 影山 徹, 山田一尋 (甲北信越矯正歯科学会雑誌 24(1) : p103)

skeletal Class II 不正咬合者における矯正治療後の顎関節形態の変化：小出大吾, 影山 徹, 山口文音, 山田一尋 (第31回甲北信越矯正歯科学会プログラム抄録集 : p50)

日本顎関節学会 (29回) 2016年7月

下顎偏位および顎関節症を伴う上顎前突の1治験例：影山 徹, 村上剛一, 田口 明, 山田一尋 (日本顎関節学会雑誌 28 (Suppl) : p136)

日本口腔科学会中部地方部会 (第59回) 2016年9月

メカニカルストレスが惹起するマウス歯根膜の傷害と回復におけるHSP70の発現推移：村岡理奈, 中野敬介, 川上敏行, 山田一尋 (第59回口腔科学会中部地方部会プログラム抄録集 : p30)

The 13th Biennial Congress of European Association of Oral Medicine (EAOM) Incorporating the World Workshop on Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月 (第13回欧州オーラルメディスン学会大会, 世界オーラルメディスン ワークショップ)

HSP70 in recovery of the mouse PDL by mechanical stress: Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T (Abstract : A12 : Oral Dis 22(S2) : 12, 2016)

日本口腔筋機能療法学会学術大会 (第4回) 2016年10月

リップエクササイズの効果に関する口唇閉鎖力による評価：原 あい, 百瀬由華, 金沢昌律, 山田一尋 (ポスター発表 (抄録集 : p19))

日本矯正歯科学会大会 (第75回) 2016年11月

矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いて上顎大白歯遠心移動を行ったハイアングル上顎前突症例：影山 徹, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p295)

矯正力負荷による Autophagy の活性は破骨細胞分化を誘導する：荒井 敦, 宇田川信之, Kim, Reuben, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p192)

歯科矯正学的メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜におけるHSP70の免疫組織化学的発現推移：村岡理奈, 中野敬介, 川上敏行, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p187)

口唇トレーニング方法別にみた口唇閉鎖力の影響：松田浩和, 原 あい, 百瀬由華, 金沢昌律, 山田

一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会抄録集 : p134)

多方位口唇閉鎖力測定装置で評価したリップ英草サイズの効果：金沢昌律, 原 あい, 百瀬由華, 松田浩和, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会抄録集 : p172)

変形性顎関節症を伴う下顎後退症例：村上円郁, 影山 徹, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p294)

顎偏位症例の咀嚼側と口唇閉鎖力バランスの関連：岡崎瑠莉香, 村上円郁, 楓 公士朗, 竹花快恵, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p167)

口唇閉鎖調節運動における方向別難易度の特徴：竹花快恵, 増田裕次, 影山 徹, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p170)

ビジュアルフィードバックを用いた高齢者における随意的口唇閉鎖調節能力：土屋恵子, 楓 公士郎, 宮本剛至, 増田裕次, 山田一尋 (第75回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集 : p174)

第2回日本骨免疫学会ウインターセミナー 2017年1月

Autophagy の活性は破骨細胞分化を誘導する：荒井 敦, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之, Wang, Cun-Yu, Kim, Reuben (第2回日本骨免疫学会ウインターセミナープログラム集 : p27)

2016 IADR/APR General Session & Exhibition, Seoul, Korea 2016年6月

Lack of cooperation between physicians and dentists during osteoporosis treatment may increase fractures and osteonecrosis of the jaw: Taguchi A, Shiraki M, Sugimoto T, Ohta H and Soen S

日本骨粗鬆症学会 ATOP 研究会年会 (東京) 2016年3月

JOINT 研究知見：A-TOP 研究会顎骨壊死アンケート調査の検証結果：田口 明

23rd International "Stress and Behavior" Neuroscience and Biopsychiatry Conference, St. Petersburg, Russia 2016年5月

The reduction of pain stress by using music: Tomida M, Furuta T, Uchikawa R, Kawahara I, Sadaoka S, Uchida K and Yagasaki T

第59回春季日本歯周病学会学術大会 (鹿児島) 2016年5月

頸動脈石灰化 (頸動脈狭窄症) と現在歯数, 年齢との関係：石岡康明, 内田啓一, 山田真一郎, 高橋弘太郎, 高橋惇哉, 岩井由紀子, 海瀬聖仁, 三木 学, 窪川恵太, 山口正人, 石田直之, 石原裕一, 田口明, 吉成伸夫

第34回日本骨代謝学会学術集会 / 第3回アジア太平洋骨代謝学会議 (大阪) 2016年7月

60歳以上の日本人女性における自己申告の身長低下および亀背と椎体骨折との関係の横断的評価：

田口 明, 上村幹男, 中村幸男, 池上章太, 内山茂晴
13th Biennial Congress European Association of
Oral Medicine, Sep 15–17, 2016 Torino, Italy

Effect of music on the pain thresholds and ner-
vous activity: Tomida M, Furuta T, Uchikawa R,
Tsuchiya S, Kawahara I, Sadaoka S, Uchida K,
Ooki E, Otogoto J and Yagasaki T

第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会
(大阪) 2016年7月

松本歯科大学病院初診患者における臨床実習の協
力動向調査: 大木絵美, 藤井健男, 音琴淳一, 小池
千恵, 内田啓一, 富田美穂子, 岡藤範正, 長谷川
博雅

第59回 NPO 法人口腔科学会中部地方会 (塩尻)
2016年9月

好酸球性副鼻腔炎の1例: 内田啓一, 杉野紀幸,
石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 遠藤周一郎, 田口
明

第59回 NPO 法人口腔科学会中部地方会 (塩尻)
2016年9月

診断に苦慮した骨性異形成症の1例: 山田真一郎,
内田啓一, 高田匡基, 落合隆永, 杉野紀幸, 嶋田勝光,
長谷川博雅, 各務秀明, 田口 明

電子情報通信ソサイエティ大会 (札幌) 2016年9
月

歯科パノラマ X 線写真における Snakes と SVM
を用いた石灰化領域検出法: 那須 剛, 川地一輝,
棟安実治, 浅野 晃, 内田啓一, 田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会 (岡山) 2016年
9月

頸動脈石灰化 (頸動脈狭窄症) の年齢層の検討:
内田啓一, 石岡康明, 國松和司, 杉野紀幸, 石原裕一,
吉成伸夫, 田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会 (岡山) 2016年
9月

第4大臼歯の2例: 大木絵美, 内田啓一, 杉野
紀幸, 石岡康明, 高谷達也, 金子圭子, 森 こそ恵,
藤井健夫, 石原裕一, 富田美穂子, 國松和司, 吉成
伸夫, 田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会 (岡山) 2016年
9月

自然排出した耳下腺唾石と思われる1例: 森
こそ恵, 内田啓一, 杉野紀幸, 石岡康明, 大木絵美,
高谷達也, 金子圭子, 藤井健夫, 石原裕一, 富田
美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会 (岡山) 2016年
9月

外歯瘻の観察に CT 検査が有用であった1例: 金子
圭子, 内田啓一, 森 こそ恵, 杉野紀幸, 石岡康明,
大木絵美, 高谷達也, 藤井健夫, 石原裕一, 富田
美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

第29回日本口腔診断学会学術大会 (岡山) 2016年

9月

二次的に嚢胞性変化を認めた下顎線維性異形成症
の1例: 森 啓, 内田啓一, 落合隆永, 杉野紀幸,
石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 田口 明

第18回日本骨粗鬆症学会 (仙台) 2016年10月

骨粗鬆症診療において医科歯科連携の欠如は骨折
および顎骨壊死を増加させるかもしれない—A-TOP
研究会調査検証結果: 田口 明, 白木正孝, 杉本
利嗣, 太田博明, 宗圓 聰, 中村利孝

第23回日本歯科医学会総会 (福岡) 2016年10月

松本歯科大学における歯周病学模型実習に対する
学生評価の解析: 海瀬聖仁, 河谷和彦, 坂本 浩,
梅村昌孝, 吉成雅子, 上條博之, 三木 学, 内田啓一,
田口 明, 吉成伸夫

NPO 法人日本歯科放射線学会第21回臨床画像大会
(東京) 2016年10月

デジタルパノラマエックス線写真による骨粗鬆症
スクリーニング: NEOOSTEO の有用性: 田口 明,
杉野紀幸, 内田啓一, 服部政幸, 中元 崇

International Congress of Osteoporosis, Seoul,
Korea 2016年12月

Associations of number of teeth present with
dental panoramic radiography measure in Japa-
nese men and women 40 years and older: a cross-
sectional study: Taguchi A, Takahashi M, Uchida
K, Yamada S, Sugino N, Higashi Y and Yamada K

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会 (岡山)
2016年11月

近年増加傾向にある好酸球性副鼻腔炎の概要:
内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 脇本仁奈, 藤井健男,
富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会 (岡山)
2016年11月

若年者に発生した頬部蜂窩織炎の1例: 大木絵美,
内田啓一, 小上尚也, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男,
富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会 (岡山)
2016年11月

上顎洞へ進展した含菌性嚢胞の1例: 小上尚也,
内田啓一, 大木絵美, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男,
富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

第83回松本歯科大学学会 (塩尻) 2016年12月

絵画分析法を弁当に応用してみる: 熊井俊文, 増田
裕次, 黒岩博子, 内田啓一

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支
部学術大会 (東京) 2016年2月

再生骨移植局部の炎症サイトカインの経時的な変
化に関する検討: 李 憲起, 千原隆弘, 古田浩史,
楊 静, 各務秀明

第61回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会
(千葉) 2016年11月

T2緩和差を利用した³¹P-NMR による非侵襲的な

新生骨量・骨量測定法の開発：齊藤安奈，八上公利，高田匡基，井上 実，森 こず恵，李 憲起，田口明，各務秀明，芳澤享子，篠原 淳

第26回日本顎変形症学会総会・学術大会（東京）
2016年5月

骨延長法を併用し外科的矯正治療を行った上下顎歯列の狭窄を伴う骨格性下顎後退症例：村上 薫，富永憲俊，古谷昌裕，東郷由弥子，岡藤範正，吉川仁育（プログラム抄録集：p150）

第16回日本外傷歯学会総会・学術大会（神戸）
2016年7月

実験的咬合性外傷の歯根膜部に対する骨髄由来細胞の供給：高谷達夫，中野敬介，魚住智子，藤井健男，岡藤範正（プログラム抄録集：p34）

第27回日本歯科審美学会学術大会（札幌）2016年8月

水平的ブラキサーへの咬合再構成及び審美補綴治療の1症例：矢ヶ崎昭裕，椿本貴教，飯塚 望，山本季美，岡藤範正（プログラム抄録集：p111）

第59回日本口腔科学会中部地方部会（塩尻）2016年9月

実験的咬合性外傷部の歯根膜組織におけるHSP47の発現推移：三村泰亮，高谷達夫，中野敬介，松田紗依佳，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p26）

第59回日本口腔科学会中部地方部会（塩尻）2016年9月

実験的咬合性外傷の歯根膜部における創傷と治療：高谷達夫，三村泰亮，松田紗依佳，中野敬介，辻極秀次，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p27）

第59回日本口腔科学会中部地方部会（塩尻）2016年9月

歯髄における傷害反応とその回復におけるHSPの発現：齊藤進之介，鍋山篤史，中野敬介，岡藤範正，川上敏行（プログラム抄録集：p28）

13th European Association of Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月

Cell migration and differentiation of BMDCs into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (A07; Oral Dis 22(S2): 11)

第23回日本歯科医学会総会（福岡）2016年10月

外傷歯治療後の矯正治療に関する臨床的検討：川鍋 仁，山野辺晋也，渡辺 敦，海老沢聡一，細矢尚史，福井和徳，岡藤範正，伊東泰蔵（プログラム抄録集：p140）

第35回日本小児歯科学会中部地方会大会（塩尻）
2016年10月

成長期骨格性反対咬合における筋機能訓練装置の及ぼす影響とその効果：山川祐喜子，高谷達夫，横井

由紀子，山川洋子，大須賀直人，岡藤範正（小児歯科学雑誌：p106）

第35回日本小児歯科学会中部地方会大会（塩尻）
2016年10月

筋機能矯正用咬合誘導装置を用いた年間成長発育量の検討：山木貴子，横井由紀子，薄井陽平，山川洋子，大須賀直人，岡藤範正（小児歯科学雑誌：p111）

特別講演

九州矯正歯科学会（博多）2016年2月

顎関節症と矯正治療の関わり：山田一尋

第31回甲北信越矯正歯科学会大会（新潟）2016年7月

シンポジウム「基本研修機関における若手矯正歯回の臨床と研究」日本矯正歯科学会の認定医申請：山田一尋

The 6th Korea-Japan Joint symposium in 49th Annual Scientific Congress Korean Association of Orthodontists, Seoul, Korea 2016年10月

Stability of Class II & III surgery: Yamada K

The 11th Asian Pacific Craniofacial Association (第11回アジア太平洋頭蓋顔面外科学会), Nara, Japan 2016年12月

Long-term follow up from birth to adult for Unilateral Cleft lip & palate Surgery: Assessment by the Surgeon, the Orthodontist, the Speech therapist- Clinico-statistical and morphological investigations on cleft lip and/or palate patients during the past 20 years in Department of Orthodontics, Matsumoto Dental University Hospital-: Muraoka R, Kurata K, Okazaki R, Matoba H, Murakami G and Yamada K (The 11th APCA Abstract : p99)

松本歯科大学市民公開講座（塩尻）2016年1月

歯は体の病気を教えてくれる？：田口 明

骨粗鬆症治療と口腔ケアを考える会（飯塚市歯科医師会）（福岡）2016年2月

顎骨壊死問題の現状と対策—国際コンセンサスペーパーを踏まえて：田口 明

「名古屋骨を守る会」第26回講演会（名古屋）2016年2月

歯と体の病気の不思議な関係：田口 明

武田製薬株式会社 web 全国講演会（東京）2016年3月

骨粗鬆症患者の歯科治療と顎骨壊死対策：田口明

第25回信州脊椎脊髄疾患研究会（松本）2016年3月

顎骨壊死問題が骨粗鬆症治療に及ぼす影響と国際コンセンサスペーパーの果たす役割：田口 明

日本歯科放射線学会優良医ステップアップ講習会

- (東京) 2016年 3月
画像診断 (歯, 歯周組織の疾患, 顎骨の炎症, 系統疾患): 田口 明
上伊那医師会学術講演会箕輪ブロック会 (伊那)
2016年 4月
顎骨壊死: 田口 明
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会 (横浜)
2016年 4月
「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年改訂版をめぐって」: 骨吸収抑制剤関連顎骨壊死対策における医科歯科連携の重要性: 田口 明
上田小児歯科医師会学術講演会 (上田) 2016年 5月
BP 製剤の光と影～高齢者の抜歯時における BP 製剤の休薬を考える. 「BP 製剤使用骨粗鬆症患者での事前休薬は骨折および顎骨壊死を増加させる」: 田口 明
広島県歯科医師会第1回学術講演会 (広島県医師会合同) (広島) 2016年 5月
骨粗鬆症患者の口腔ケア～顎骨壊死発生をなくすための医科歯科連携を考える～医科歯科連携による顎骨壊死対策—現在の日本に何が必要か?: 田口 明, 宗圓 聡
第2回豊中骨粗鬆症治療ネットワーク (豊中)
2016年 6月
骨粗鬆症患者における歯科治療と顎骨壊死対策: 田口 明
第15回横浜関節疾患研究会 (横浜) 2016年 7月
顎骨壊死問題の骨粗鬆症治療への影響と国際コンセンサスペーパーの果たす役割: 田口 明
松本歯科大学市民公開講座 (松本) 2016年 7月
お口と全身の不思議な関係: 田口 明
釜座骨粗鬆症を科学する会 (京都) 2016年 7月
骨粗鬆症患者における歯科治療と顎骨壊死対策: 田口 明
武田薬品全国 web 講演会 (東京) 2016年 8月
骨粗鬆症患者の歯科治療と顎骨壊死対策: 田口 明
日本骨粗鬆症学会若手サマーセミナー2016 (千葉)
2016年 8月
臨床研究のすすめ: 田口 明
「歯と骨から健康寿命を考える会」阪南医療講演会 (大阪) 2016年 8月
顎骨壊死問題の骨粗鬆症治療への影響と対策: 田口 明
MSD Osteoporosis Update (東京) 2016年 8月
顎骨壊死に関する最新の知見: 田口 明
第59回 NPO 法人口腔科学学会中部地方会 (塩尻)
2016年 9月
「パノラマエックス線写真による予防医学の推進—骨粗鬆症, 動脈硬化—」: 田口 明
第59回 NPO 法人口腔科学学会中部地方会 (塩尻)
2016年 9月
「骨粗鬆症オートスクリーニング支援システム NEOOSTEO の概要について」: 内田啓一
呉地区による MRONJ (薬剤関連顎骨骨髄炎) と骨粗鬆症に関する医科歯科連携講演会 (広島) 2016年 9月: 田口 明
第31回熊本骨粗鬆症研究会 (熊本) 2016年 9月
骨粗鬆症患者における歯科治療—顎骨壊死対策を踏まえて: 田口 明
高岡市医師会・歯科医師会連携の会 (高岡) 2016年 9月
日本における顎骨壊死の現状と改訂ポジションペーパーの意義: 田口 明
第127回中部整形外科災害外科学会・学術大会 (松本) 2016年 9月
ALPS セミナー 4 医科歯科連携による骨吸収抑制剤関連顎骨壊死対策: 田口 明
Recalbon Executive Conference 2016 (東京)
2016年11月
ビスホスホネート製剤投与と患者における歯科治療の最新の考え方: 田口 明
2016年骨粗鬆症診療フロンティア (東京) 2016年 12月
顎骨壊死について: 田口 明
品川区骨粗鬆症医歯薬連携セミナー (東京) 2016年12月
日本における顎骨壊死の現状とポジションペーパー2016について: 田口 明
戸畑共立病院 (北九州) 2016年12月
日本における顎骨壊死の現状とポジションペーパー2016について: 田口 明
Hebei Medical University 2016年11月
Influence of inflammatory cytokine on osteogenesis of mesenchymal stem cells: Li X
アジア国際外傷歯学会—平成28年度日中学術交流会— (天津・中国) 2016年10月
実験的外傷ストレスにおける歯周組織変化: 岡藤 範正
第3回日本アライナー矯正歯科研究会 (東京)
2016年12月
Basic research background of tooth movement examined by aligner orthodontics—Studies of histological and finite element simulation—: 岡藤 範正, 河村 純 (プログラム抄録集: p9-10)
- 講 演 会
- 長野県矯正研究会 (松本) 2016年 1月
安全に矯正治療を終わらせるための作法: 山田 一尋
Edgewise Society in Kyusyu (博多) 2016年 7月
顎関節症と矯正治療の関わり: 山田 一尋

長野県矯正研究会（長野）2016年8月
 歯科矯正用アンカースクリューによる前歯と臼歯の
 コントロール：山田一尋
 長野県立こども病院公開講座（安曇野）2016年9
 月
 歯・歯並びについて：山田一尋
 第75回日本矯正歯科学会大会（徳島）2016年11月
 指導者講習会「認定医の取得，更新を目指す方，
 またその指導者へ」：山田一尋
 第75回日本矯正歯科学会大会（徳島）2016年11月
 第75回日本矯正歯科学会大会 JOS フォーラム：
 山田一尋

その他の発表

第10回口腔顎顔面病変 CPC（塩尻）2016年2月
 エナメル上皮腫 65歳男性：内田啓一
 第11回口腔顎顔面病変 CPC（塩尻）2016年5月
 線維性異形成症 47歳女性：内田啓一
 第12回口腔顎顔面病変 CPC（塩尻）2016年9月
 含歯性嚢胞，角化嚢胞性歯原性腫瘍 6歳男児：
 内田啓一

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

山田一尋，増田裕次，田口 明：CTと顎運動，筋
 活動測定による矯正治療後の顎関節形態と顎機能の
 調和に関する研究（基盤研究C）
 荒井 敦，溝口利英，小林泰浩，山田一尋：矯正
 力負荷は破骨細胞前駆細胞のオートファジーを誘導
 するか（基盤研究C）
 田口 明：血清アミロイドAを介した歯周病から
 動脈硬化症悪化機序に対する老化への影響（基盤研
 究C（分担：吉成伸夫））
 田口 明：口腔顎顔面のエックス線画像指標を統
 合した新規骨粗鬆症スクリーニングシステムの構築
 （基盤研究C（代表））
 田口 明：モロッコ王国における侵襲性歯周炎の
 発症を制御する因子の細菌・免疫学的解析（基盤研
 究B（分担：吉田明弘））
 内田啓一：パノラマX線画像における局所輝度勾
 配に着目した顎動脈狭窄症の判別法の試み（基盤研
 究C（代表））

顎口腔機能制御学部門

咀嚼機能解析学

論文発表

Kaede K, Kato T, Yamaguchi M, Nakamura N,
 Yamada K and Masuda Y (2016) Effects of lip-

closing training on maximum voluntary lip-closing
 force during lip pursing in healthy young adults. J
 Oral Rehabil 43(3) : 169-75

森本 剛，増田裕次（2016）コースステレスコー
 プ義歯を用いて22年間無理なく老化に対応している
 1症例—終末期に向けての快適な移行を目指して—
 日本顎咬合学会誌 36(1,2) : 51-8

増田裕次（2016）咀嚼のメカニズム，日本顎咬合
 学会誌「噛みあわせの科学」36 : 48-52

学会発表

第93回日本生理学会大会（札幌）2016年3月
 Cerebral blood flow during adjusting voluntary
 lip-closing force using the visual feedback: Masuda
 Y, Kurose M, Takehana Y, Okamoto K and Yama-
 mura K (The Journal of Physiological Sciences 64
 (suppl 1) : S139, 2016)

日本顎口腔機能学会第56回学術大会（鶴ヶ島）
 2016年4月

外耳道ひずみの記録による簡易顎関節診断の可能
 性：祁 君容，竹花快恵，増田裕次（日本顎口腔機
 能学会誌 22(2) : 2015)

口すばめ運動の方向別難易度—口唇トレーニング
 システムの開発に向けて—：竹花快恵，山田一尋，
 増田裕次（日本顎口腔機能学会誌 23(2) : 2016)

第58回歯科基礎医学会学術大会（札幌）2016年8
 月

喉頭領域を支配する上喉頭神経における TRPV1お
 よび TRPM8チャンネルの発現：安藤 宏，増田裕次，
 北川純一（歯科基礎医学会プログラム抄録集：2016）

口唇随意運動時の脳活動の変化—fNIRSによる分
 析：黒瀬雅之，岡本圭一郎，長谷川真奈，中谷暢介，
 藤井規孝，山田好秋，佐藤義英，山村健介，増田裕次
 （歯科基礎医学会プログラム抄録集：2016）

日本咀嚼学会第26回学術大会（広島）2016年11月
 コンビニおにぎり一つの咀嚼回数に関連する要
 因：安富和子，増田裕次（日本咀嚼学会プログラム
 抄録集：2016）

外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法：
 菅生秀昭，祁 君容，中村典正，倉澤郁文，増田裕次
 （日本咀嚼学会プログラム抄録集：2016）

日本矯正歯科学会大会（第75回）（徳島）2016年11
 月

口唇閉鎖調節運動における方向別難易度の特徴：
 竹花快恵，増田裕次，影山 徹，山田一尋（日本矯
 正歯科学会大会プログラム抄録集：p170, 2016）

ビジュアルフィードバックを用いた高齢者におけ
 る随意的口唇閉鎖調節能力：土屋恵子，楓 公士郎，
 宮本剛至，増田裕次，山田一尋（日本矯正歯科学会
 大会プログラム抄録集：p174, 2016）

第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会（佐久）

2016年11月

Immunohistochemical and electrophysiological evidence of activity of TRPV1 and TRPM8 in the superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: Mohammad Z H, Ando H, Unno S, Kondo E, Masuda Y and Kitagawa J (第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会, 2016)

開発した咀嚼回数計数装置の信頼性: 菅生秀昭, 霜野良介, 長井 健, 奥村雅代, 増田裕次 (第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会, 2016)

特別講演

第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 シンポジウム—咀嚼研究のこれまでとこれから— (新潟) 2016年9月

咀嚼のメカニズム: 増田裕次

第35回日本小児歯科学会中部地方会大会 教育講演 (塩尻) 2016年10月

健康咀嚼は子供から—いま何が必要か?—: 増田裕次

講演会

第12回新大阪臨床セミナー (大阪) 2016年2月
生涯維持したい機能「咀嚼」: 増田裕次

平成28年越谷市歯科医師会主催「歯の健康増進と食事のメニュー」2016年3月

噛むことから始まる歯と体の健康~カムカムメニュー~: 増田裕次

長岡市・長岡歯科医師会主催「歯と食の健口ひろば」講演会 2016年6月

よく噛んで食べると健康に~歯と口の大切さ~: 増田裕次

塩尻ロマン大学 2016年7月

口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活: 増田裕次

高等教育コンソーシアム信州 県内大学連続市民セミナー「健康長寿を考える」2016年7月

「噛むことで健康に—食育を地域に広める—」: 増田裕次

第16回日本咀嚼学会健康咀嚼指導士認定研修会 2016年8月

咀嚼の意義と健康咀嚼指導士: 増田裕次

上伊那 歯科衛生士会セミナー 2016年11月

複雑な機能「咀嚼」: 増田裕次

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

増田裕次: 外耳道のひずみの計測波形から咀嚼回数を計数する装置の開発 (挑戦的萌芽研究) (代表)

増田裕次: CTと顎運動, 筋活動測定による矯正治療後の顎関節形態と顎機能の調和に関する研究 (基盤研究C (分担))

増田裕次: 唾液ヒスタチンによるインフルエンザウイルス感染とその誘導性炎症の抑制機構解明 (基盤研究C (分担))

顎口腔機能制御学講座

生体調節制御学

著 書

金銅英二, 奥村雅代 (分担執筆) (2016) 日本口腔顔面痛学会編, 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック, 第2版, p8-12, 29-35, 医歯薬出版, 東京

論文発表

Tadokoro O, Ando H, Kawahara I, Asanuma N, Okumura M, Kitagawa J, Kondo E and Yagasaki H (2016) Distribution and origin of VIP-, SP-, and phospholipase C β 2 – immunoreactive nerves in the tongue of the bullfrog, *Rana catesbeiana*. *Anat Rec* **299**: 929-42

Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Saito I and Kitagawa J (2016) Inhibition of the degradation of 2-arachidonoylglycerol (2-AG) attenuated orofacial neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. *J Oral Sci*, In Press

Bakri MM, Hossain MZ, Razak FA, Saqina ZH, Misroni AA, Murat NA, Kitagawa J and Saub RB (2016) Dentinal tubules occluded by bioactive-glass containing toothpaste exhibit high resistance toward acidic soft drink challenge. *Aust Dent J*, In Press

Zakir HM, Shinoda M, Unno S, Ando H, Masuda Y, Iwata K and Kitagawa J (2016) Involvement of microglia and astroglia in modulation of the orofacial motor functions in neuropathic-pain rats. *JOB* **58**: 17-22, in press

谷山貴一, 湯川譲治, 石田麻依子, 中ノ森晶子, 澁谷 徹 (2016) 小児交互性片麻痺患児の全身麻酔経験. *日本歯科麻酔学会雑誌* **44**(5): 618-20

その他の学術著作物

田所 治, 大野伸彦, 齊藤 成, Huy Bang Nguyen, 安藤 宏 (2016) 連続ブロック表面SEMによるカエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の三次元構造解析. *自然科学研究機構生理学研究所年報*

37 : 185

学会発表

日本解剖学会全国学術集会・総会（第121回）2016年3月

カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の形態構造解析：田所 治，大野伸彦，安藤 宏，奥村雅代，北川純一，金銅英二，矢ヶ崎 裕（講演プログラム抄録集：p194）

International Congress on Orofacial Pain 2016
2016年9月

Unknown transcripts regulated by capsaicin application in rat trigeminal ganglion: Ohki E, Okumura M, Tadokoro O and Kondo E (The Abstract book of ICOP : p123)

Heat, capsaicin sensation and TRPV1 genome SNPs in human: Okamoto N, Okumura M, Ohki E, Tadokoro O and Kondo E (The Abstract book of ICOP : p130)

16th World Congress on Pain International Association for the Study of Pain 2016年9月

Unknown transcripts regulated by capsaicin application in rat trigeminal ganglion: Ohki E, Okumura M, Tadokoro O and Kondo E (Official Congress Program : p88)

Heat, capsaicin sensation and TRPV1 genome SNPs in human: Okamoto N, Okumura M, Ohki E, Tadokoro O and Kondo E (Official Congress Program : p71)

自然科学研究機構生理学研究所研究会 2016年11月

カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の形態構造解析：田所 治，大野伸彦，Huy Bang Nguyen，齊藤 成，安藤 宏，奥村雅代，金銅英二，矢ヶ崎 裕（プログラム予稿集：p11）

松本歯科大学学会（第83回）2016年12月

内腸骨静脈が腸骨間静脈に注ぐ重複下大静脈の一例：吉田美加，渡邊剛樹，山口久穂，宮野宏子，田所 治，奥村雅代，金銅英二，矢ヶ崎 裕（プログラム予稿集：p2）

第58回歯科基礎医学会学術大会（札幌）2016年8月

喉頭領域を支配する上喉頭神経における TRPV1 および TRPM8 チャンネルの発現：安藤 宏，増田裕次，北川純一（プログラム抄録集：p500）

Oral Neuroscience 2016（吹田）2016年10月

TRPV1 and TRPM8 channels expression and activity in the superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: an immunohistochemical and electrophysiological study: Hossain MZ, Ando H, Unno S, Masuda Y and Kitagawa J (プログラム抄録集：Poster Session, P-3)

da Y and Kitagawa J (プログラム抄録集：Poster Session, P-3)

第10回三叉神経研究会（佐久）2016年11月

Immunohistochemical and electrophysiological evidence of activity of TRPV1 and TRPM8 in the superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: Hossain MZ, Ando H, Unno S, Kondo E, Masuda Y and Kitagawa J (プログラム抄録集：p9)

有病者歯科医療学会（第25回）2016年3月

麻酔中の頰脈から甲状腺機能亢進症を疑い術中の血液検査で診断された1症例：湯川譲治，谷山貴一，小川さおり，中ノ森晶子，澁谷 徹

松本歯科大学学会（第82回）2016年7月

寒冷昇圧試験に伴う自律神経活動の変化に対するプロボフォールの効果：湯川譲治，谷山貴一，小川さおり，中ノ森晶子，澁谷 徹

顎変形症手術における全身麻酔後の PONV 発生要因の検討：中ノ森晶子，谷山貴一，石田麻依子，小川さおり，湯川譲治，澁谷 徹

日本歯科麻酔学会（第44回）2016年10月

福山型筋ジストロフィー症患児の全身麻酔経験：石田麻依子，谷山貴一，小川さおり，湯川譲治，中ノ森晶子，澁谷 徹

寒冷昇圧試験に伴う自律神経活動の変化に対するプロボフォールの効果：湯川譲治，谷山貴一，石田麻依子，小川さおり，中ノ森晶子，澁谷 徹

顎変形症手術における全身麻酔後の PONV 発生要因の検討：中ノ森晶子，谷山貴一，石田麻依子，小川さおり，湯川譲治，遠藤理香，長江麻帆，澁谷 徹

松本歯科大学学会（第83回）2016年12月

Treacher Collins 症候群様患者の歯科治療時の全身麻酔：小川さおり，谷山貴一，石田麻依子，湯川譲治，中ノ森晶子，澁谷 徹

招待講演

Oral Neuroscience 2016（吹田）2016年10月

Integration of sensory and motor function in the orofacial region: Kitagawa J (プログラム抄録集：Invited Lecture, L-5)

講演会

日本口腔顔面痛学会ベーシックセミナー 2016年6月

口腔顔面痛に必要な神経解剖の知識—基礎編—：金銅英二

校友会広島県支部学術集会 2016年10月

知っておきたい痛み・情動の話—臨床の対処法から脳のメカニズムまで—：金銅英二

長野県歯科衛生士会地域歯科保健部研修会（安曇

野) 2016年7月

摂食嚥下に関わる生理, のどごしと美味しさと嚥下誘発: 北川純一

信明中学校 PTA 講演会 (松本) 2016年11月

味の不思議: 北川純一

松本歯科大学校友会滋賀県支部講演会 2016年7月

安全な歯科医療のために—モニタリングの勧め—: 澁谷 徹

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

北川純一: 内因性カンナビノイド分解阻害剤を利用した嚥下反射機能改善薬開発の検討 (基盤研究費 C (研究代表))

北川純一: 咽頭・喉頭領域における TRP チャネルの生理学的機能の検討: 「のどごし」と嚥下誘発 (基盤研究費 C (研究分担))

研究助成

田所 治: カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経, および上皮の三次元構造解析 (平成28年度自然科学研究機構生理学研究所共同利用研究)

顎口腔機能制御学講座

臨床機能評価学

著 書

黒岩昭弘 (2016) 全部床義歯学サイドリーダー 第5版 学建書院

黒岩昭弘 (分担執筆) (2016) スタンダードパーソナルデンチャー補綴学 学建書院

黒岩昭弘 (分担執筆) (2016) 無歯顎補綴治療学 第3版 医歯薬出版

論文発表

Okada Y, Best SA, Parker RS, Levine BD and Fu Q (2016) Sympathetic neural and cardiovascular responses during static handgrip exercise in women with a history of hypertensive pregnancy. Clin Auton Res 26(6): 395-405

Okada Y, Jarvis SS, Best SA, Edwards JG, Hendrix JM, Adams-Huet B, Vongpatanasin W, Levine BD and Fu Q (2016) Sympathetic neural and hemodynamic responses during cold pressor test in elderly blacks and whites. Hypertension 21(6): 1155-61

宮原康太, 小笠原 正, 篠塚功一, 岩崎仁史,

松村康平, 岡田芳幸, 靄島弘之, 藤田恵未, 角 保徳 (2016) ジェルタイプの保湿剤を用いた介助歯磨き後の唾液中細菌数の増減. 日本障害者歯科学雑誌 37(1): 16-21

篠塚功一, 小笠原 正, 岩崎仁史, 磯野員達, 轟かほる, 岡田芳幸, 靄島弘之, 沈 發智, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 経管栄養の要介護者にみられる咽頭付着物の形成要因. 障害者歯科 37: 22-7

三井達久, 小笠原 正, 磯野員達, 鈴木智子, 伊沢正行, 鈴木貴之, 靄島弘之, 岡田芳幸 (2016) 亜酸化窒素吸入鎮静法における臨床症状の発現時間歯科治療前の吸入時間は何分必要か? 障害者歯科 37: 127-33

岩崎仁史, 小笠原 正, 篠塚功一, 轟かほる, 小澤 章, 岡田芳幸, 靄島弘之, 沈 發智, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 口腔の剥離上皮膜に対する保湿剤の予防効果の検討. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌 20: 86-93

対 談

岩崎貢士, 黒岩昭弘, 尾崎洋美, 鈴木宏樹, 湯田亜希子 (2016) 生活を支える歯科医療. 日本顎咬合学雑誌 36(3): 272-82

学会発表

第34回日本顎咬合学会学術大会 2016年6月

部分床義歯を安定化する Tips: 黒岩昭弘

第34回日本顎咬合学会学術大会 2016年6月

全部床義歯の合理的な人工歯排列を再考する:

黒岩昭弘

第46回日本口腔インプラント学会学術大会 2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリーピンの効果について—非線形有限要素法による解析—: 永澤 栄, 竹内 賢, 新村弘子, 黒岩昭弘
平成28年度日本補綴歯科学会東海支部学術大会
2016年11月

CAD/CAM用レジブロックとレジセメントとの接着における問題点: 岡崎耕典, 中村典正, 三溝恒幸, 永澤 栄, 黒岩昭弘

第125回日本補綴歯科学会 (金沢) 2016年5月

各種口蓋床装着による舌圧と異物感の関係: 中村典正, 松山雄喜, 岡崎耕典, 菅生秀昭, 霜野良介, 平井博一郎, 中本哲自, 黒岩昭弘

第27回日本咀嚼学会学術大会 (広島) 2016年11月
外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法:
菅生秀昭, 祁 君容, 中村典正, 倉澤郁文, 増田裕次
平成28年度日本補綴歯科学会東海支部 (長野)
2016年11月

外耳道のひずみから咀嚼回数を計数できるか? : 菅生秀昭, 祁 君容, 中村典正, 倉澤郁文, 増田裕次
第46回日本口腔インプラント学会(愛知)2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリーピンの効果について—非線形有限要素法による解析—: 竹内 賢, 新村弘子, 黒岩昭弘

学会発表

Korean Association for Disability and Oral Health 2016年4月

The study of preventing the formation of membranous substances by using moisturizer in the oral cavity of elderly individuals with tube-feeding: Miyahara K, Iwasaki H, Shinotsuka K, Ishihara N, Higuchi Y, Izawa M, Okada Y, Haishima H, Shimada K, Ochiai T, Hasegawa H and Ogawara T

日本老年歯科医学会(第27回)2016年6月

経管栄養の要介護高齢者にみられる剥離上皮膜の由来: 宮原康太, 篠塚功一, 岩崎仁史, 伊沢正行, 岡田芳幸, 靛島弘之, 島田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 藤井 航, 柿木保明, 小笠原 正

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例: 石原紀彰, 岩崎仁史, 井上恭代, 伊沢正行, 磯野員達, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

日本障害者歯科学会(第33回)2016年9月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和に上田法は有効か? 第3報—: 筋緊張の経時的変化—: 伊沢正行, 望月慎恭, 宮原康太, 大岩隆則, 上出清恵, 佐々木隆子, 小柴慶一, 西連寺央康, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

笑気吸入鎮静による圧反射感受性への影響: 磯野員達, 岡田芳幸, 三井達久, 高井経之, 靛島弘之, 小笠原 正

障害者における Oral Health Assessment Tool 日本語版の有用性の検討: 岩崎仁史, 石原紀彰, 樋口雄大, 伊沢正行, 三井達久, 松村東栄, 岡田芳幸, 靛島弘之, 中川量晴, 松尾浩一郎, 小笠原 正

知的障害の意思決定支援の検討—全身麻酔と身体拘束は理解できるか—: 鈴木貴之, 大槻征久, 大槻真理子, 岩崎仁史, 岡田尚則, 望月慎恭, 小島広臣, 高井経之, 岡田芳幸, 靛島弘之, 緒方克也, 小笠原 正

笑気吸入鎮静法における臨床徴候発現時と自律神経調節との関連—直接測定と間接測定を併用して—: 三井達久, 樋口雄大, 磯野員達, 岩谷和夫, 河瀬聡一郎, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

口腔の剥離上皮膜がみられる患者にカンジダ菌は存在するか?—病理学的・細菌学的検討—: 宮原

康太, 篠塚功一, 石原紀彰, 松村康平, 久野 喬, 塚田久美子, 福澤雄司, 井上恭代, 副島之彦, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

喉頭の垂直的位置の加齢変化—簡易法を用いた計測—: 靛島弘之, 磯野員達, 鈴木貴之, 三井達久, 脇本仁奈, 河瀬瑞穂, 河瀬聡一郎, 山田晋司, 牧井覚万, 岡田芳幸, 小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭の付着物は何か?: 樋口雄大, 篠塚功一, 宮原康太, 轟かほる, 守谷恵未, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 藤井 航, 柿木保明, 大野友久, 角 保徳, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

印象体の効果的な洗浄についての検討: 三澤美幸, 田中春菜, 内田清美, 石原紀彰, 木村莉子, 那須小夢樹, 植松紳一郎, 三井達久, 三井理恵子, 三井貴信, 宮原康太, 渡部義基, 岩崎仁史, 岡田芳幸, 小笠原 正

重症心身障害児・者にみられる白歯部歯肉形態異常の発現頻度と各項目との関連性: 脇本仁奈, 伊沢正行, 山田晋司, 穂坂一夫, 薦田 智, 鈴木尚子, 安東信行, 西山孝宏, 岡田尚則, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

北信越障害者歯科臨床研究会(第7回)2016年6月

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例: 石原紀彰, 伊沢正行, 鈴木貴之, 宮原康太, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

中部歯科麻酔研究会(第51回)2016年6月

笑気吸入鎮静は圧受容器反射感受性を維持する: 磯野員達, 岡田芳幸, 三井達久, 小笠原 正

松本歯科大学学会(第82回)2016年7月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和のための非薬物的方法の検討: 伊沢正行, 宮原康太, 望月慎恭, 岡田芳幸, 靛島弘之, 増田裕次, 小笠原 正

疼痛時昇圧応答抑制に対する笑気吸入鎮静法の効果: 磯野員達, 岡田芳幸, 三井達久, 増田裕二, 小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる口腔の剥離上皮膜と咽頭の付着物の由来: 宮原康太, 篠塚功一, 岩崎仁史, 鈴木貴之, 伊沢正行, 嶋田勝光, 落合隆永, 岡田芳幸, 靛島弘之, 長谷川博雅, 小笠原 正

講演会

大学・地域連携事業(塩尻)2016年1月

「健康寿命とお口の健康」: 岡田芳幸

松本歯科大学市民公開講座(松本)2016年6月

「口の健康維持」でめざす地域の健康寿命延伸

「入れ歯と上手に付き合う方法」: 黒岩昭弘

日本顎咬合学会 認定医教育研修会 (札幌) 2016年10月

咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—「健康な咬むことを提供するには」:
黒岩昭弘

日本顎咬合学会認定医教育研修会 (大阪) 2016年11月

咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—「健康な咬むことを提供するには」:
黒岩昭弘

日本顎咬合学会 認定医教育研修会 (福岡) 2016年12月

咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—「健康な咬むことを提供するには」:
黒岩昭弘

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岡田芳幸: 歯周疾患に関わる頸動脈硬化症が中枢性血圧反射感受性に与える影響 (基盤研究 C (代表研究者))

健康増進口腔科学講座

口腔健康分析学

著 書

吉田明弘 (2016) 口腔微生物学・免疫学, 川端重忠, 小松澤 均, 大原直也, 寺尾 豊, 浜田茂幸編, 第4章 口腔の感染症, VII う蝕 C. う蝕の免疫学, D. 病因論に基づいたう蝕の予防, 第4版, p242-51, 医歯薬出版, 東京

石原裕一, 吉成伸夫 (分担執筆) (2016) 患者さんに語るシンプル歯周治療 (II 細菌・感染のコントロール 2 見えるブラーク), 吉江弘正, 和泉雄一編, 40-7, 医歯薬出版, 東京

吉成伸夫, 石原裕一 (分担執筆) (2016) 患者さんに語るシンプル歯周治療 (IV 予防と介護に向けて 2 フレイル (虚弱) 患者への歯周治療はどこが違う), 吉江弘正, 和泉雄一編, 94-7, 医歯薬出版, 東京

吉成伸夫 (分担執筆) (2016) 歯周病と全身の健康 第2部 細胞・分子のメカニズム 2) 歯周炎と動脈硬化症の関連メカニズム, 特定非営利活動法人 日本歯周病学会編, 40-7, 医歯薬出版, 東京

吉成伸夫, 海瀬聖仁 (分担執筆) (2016) 言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学 第2章 臨床歯科医学 D 歯周組織の疾患, 第2版, p58-62, 医学書院, 東京

Hatori K 共著 (2016) Interface Oral Health Science Innovative Research on Biosis-Abiosis Intelli-

gent Interface, Acoustic Diagnosis Device for Dentistry. Chapter 16 : 181-201, Springer

総 説

石原裕一, 吉成伸夫 (2016) 特集: 歯の細胞生物学 10. 全身疾患と歯周病. 季刊『腎と骨代謝』29 : 81-9

吉成伸夫 (2016) 超高齢社会における歯周病学. 歯界展望 127(5) : 850-3

論文発表

Morozumi T, Nakagawa T, Nomura Y, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobayashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K, Sekino S, Numabe Y, Fukaya C, Yoshinari N, Fukuda M, Noguchi T, Kono T, Umeda M, Fujise O, Nishimura F, Yoshimura A, Hara Y, Nakamura T, Noguchi K, Kakuta E, Hanada N, Takashiba S and Yoshie H (2016) Salivary pathogen and serum antibody to assess the progression of chronic periodontitis: a 24-mo prospective multicenter cohort study. *Journal of Periodontal Res* 51 (6) : 768-78

大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 藤井健男, 田口 明 (2016) 抜歯により発生した広範囲な皮下縦隔気腫の1例. 日総歯誌 8 : 70-3

内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 富田美穂子, 藤井健男, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明 (2016) 病理組織学的に側方歯周嚢胞と診断された1例. 日総歯誌 8 : 74-7

Ogata Y, Nakayama Y, Tatsumi J, Kubota T, Sato S, Nishida T, Takeuchi Y, Onitsuka T, Sakagami R, Nozaki T, Murakami S, Matsubara N, Tanaka M, Yoshino T, Ota J, Nakagawa T, Ishihara Y, Ito T, Saito A, Yamaki K, Matsuzaki E, Hidaka T, Sasaki D, Yaegashi T, Yasuda T, Shibutani T, Noguchi K, Araki H, Ikumi N, Aoyama Y, Kogai H, Nemoto K, Deguchi S, Takiguchi T, Yamamoto M, Inokuchi K, Ito T, Kado T, Furuichi Y, Kanazashi M, Gomi K, Takagi Y, Kubokawa K, Yoshinari N, Hasegawa Y, Hirose T, Sase T, Arita H, Kodama T, Shin K, Izumi Y and Yoshie H (2016) Prevalence and risk factors for peri-implant diseases in Japanese adult dental patients. *J Oral Sci.* doi: 10.2334/josnusd.16-0027

牧 茂, 荒 敏昭, 竹内由里, 岩井由紀子, 吉成伸夫, 佐藤 晶, 前島信也 (2016) 現在歯数に関連する因子—特に生理学的, 血液生化学的, 栄養学的

視点から一. 松本歯学 42 : 16-24

Kakuta E, Nomura Y, Morozumi T, Nakagawa T, Nakamura T, Noguchi K, Yoshimura A, Hara Y, Fujise O, Nishimura F, Kono T, Umeda M, Fukuda M, Noguchi T, Yoshinari N, Fukaya C, Sekino S, Numabe Y, Sugano N, Ito K, Kobayashi H, Izumi Y, Takai H, Ogata Y, Takano S, Minabe M, Maki-no-Oi A, Saito A, Abe Y, Sato S, Suzuki F, Takahashi K, Sugaya T, Kawanami M, Hanada N, Takashiba S and Yoshie H (2017) Assessing the progression of chronic periodontitis using subgingival pathogen levels: a 24-month prospective multicenter cohort study. BMC Oral Health 17 : 46. doi: 10.1186/s12903-017-0337-x

Hasan HA, Alam MK, Abdullah YJ, Nakano J, Yusa T, Yusof A and Osuga N (2016) 3DCT morphometric analysis of sella turcica in iraqi population. J Hard Tissue Biology 25 : 227-32

Nowrin SA, Basri R, Alam MK, Yusa T, Nakano J, Jaafar S, Mokhta KIB and Osuga N (2016) Craniofacial morphology of class III malocclusion with DUSP6 gene: mutation and non-mutation groups. J Hard Tissue Biology 25 : 247-56

Hasan HA, Mohammad Alam MK, Yusof A, Mizushima H, Kida A and Osuga N (2016) Size and morphology of sella turcica in malaypopulations: A 3D CT study. J Hard Tissue Biology 25 : 313-20

Massoud MMH, Alam MK, Abraham N, Kida A, Mizushima H and Osuga N (2016) Validity and reliability of arch size measurements using laser scanned 3D model. J Hard Tissue Biology 25 : 313-20

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. I Journal of Medical Science 13 : 500-6

Basri R, Alam MK, Imanishi T, Ping SY, Idrus ZMMS, Rahman HA, Shoumura M and Osuga N (2016) Functional ability of masticatory muscles in treated mandibular fracture cases using surface electromyography (sEMG). J Hard Tissue Biology 25 : 427-30

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological daynamic of periodontal ligament inflammatory lesions. I Journal of Dentistry and Oral Science 13 : 500-6

Ohigashi S, Samizo T, Takamata T, Kagiya S,

Sasayama C, Kasahara T, Kitazawa F, Taniuchi H, Shoumura M, Osuga N and Tsuchida M (2016) Fabrication of sports mouthguards from silicon rubber using the palajet injection system. The Int J of Sports Dent 9 : 72-81

Sakai K, Nakano K, Matsuda S, Tsujigiwa H, Ochai T, Shoumura M, Osuga N, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Pathological analysis of cell differentiation in cholesterol granulomas experimentally induced in mice (International Journal of Medical Sciences 13 : 220-4)

学会発表

日本骨免疫学会 ウィンターセミナー (第1回) 2016年1月

非ムコイド型緑膿菌における extracytoplasmic function (ECF) シグマ因子 AlgU の機能解析 : 塩屋幸樹, 吉田明弘

日本口腔衛生学会・総会 (第65回) 2016年5月
透析患者における歯周病と健康関連 Quality of Life の関連 : 岩崎正則, 栗野秀慈, 有永 靖, 片岡正太, 角田聡子, 邵 仁浩, 濱寄朋子, 吉田明弘, 安細敏弘

日本口腔衛生学会・総会 (第65回) 2016年5月
歯科診療所における子ども参加型職業体験を通じた受診への動機づけの試み : 峰岡哲郎, 徳富順子, 角田聡子, 邵 仁浩, 岩崎正則, 吉田明弘, 栗野秀慈, 安細敏弘

バイオフィルム研究者若手ワークショップ (第1回) 2016年7月

非ムコイド型緑膿菌における ECF シグマ因子 AlgU の機能解析 : 塩屋幸樹, 吉田明弘

松本歯科大学学会 (第82回) 2016年7月
Porphyromonas gingivalis 硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析 : 塩屋幸樹, 中村卓, 平岡行博, 吉成伸夫, 吉田明弘

細菌学若手コロッセウム (第10回) 2016年7月
Porphyromonas gingivalis の硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析 : 塩屋幸樹, 中村卓, 平岡行博, 吉成伸夫, 吉田明弘

歯科基礎医学会学術大会 (第58回) 2016年8月
マウスにおける *Porphyromonas gingivalis* の硫化水素産生酵素による生体反応解析 : 塩屋幸樹, 平岡行博, 吉田明弘

W9ペプチドは OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する : 尾崎友輝, 小出雅則, 宇田川信之, 吉成伸夫

第59回春季日本歯周病学会学術大会 (鹿児島) 2016年5月

頸動脈石灰化 (頸動脈狭窄症) と現在歯数, 年齢との関係 : 石岡康明, 内田啓一, 山田真一郎, 高橋

弘太郎, 高橋惇哉, 岩井由紀子, 海瀬聖仁, 三木 学, 窪川恵太, 山口正人, 石田直之, 石原裕一, 田口 明, 吉成伸夫

第59回春季日本歯周病学会学術大会 (鹿児島) 2016年5月

骨吸収は sclerostin の発現低下を介して骨形成を促進する: 小出雅則, 尾崎友輝, 吉成伸夫, 石原裕一, 宇田川信之

94th General Session of the IADR, Seoul, Korea 2016年6月

The effect of serum amyloid a for endothelial cell: Yoshinari N, Takahashi K, Kaise K, Saleem M, Ozaki Y, Nakamura S, Kubokawa K and Ishihara Y

第28回日本レーザー歯学会総会・学術大会 (名古屋) 2016年7月

Er: YAG レーザーによる歯周組織再生療法の促進: 石原裕一, 三木 学, 窪川恵太, 吉成伸夫

第82回松本歯科大学学会 (塩尻) 2016年7月

Porphyromonas gingivalis の硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析: 塩屋幸樹, 中村卓, 平岡行博, 吉成伸夫, 吉田明弘

第59回 NPO 法人口腔科学会中部地方会 (松本) 2016年9月

好酸球性副鼻腔炎の1例: 内田啓一, 杉野紀幸, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 遠藤周一郎, 田口 明

102nd Annual Meeting American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology and Japanese Academy of Clinical Periodontology, San Diego, USA 2016年9月

Analysis of the relationship between periodontal disease and diabetes mellitus: Yoshinari N, Iwai Y, Taguchi A, Ishioka Y, Kubokawa K and Uchida K

13th Biennial Congress European Association of Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月

第26回日本口腔内科学会・第29回日本口腔診断学会合同学術大会 (岡山) 2016年9月

二次的に嚢胞性変化を認めた下顎線維性異形成症の1例: 森 啓, 内田啓一, 落合隆永, 杉野紀幸, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 田口 明

頸動脈石灰化 (頸動脈狭窄症) の年齢層の検討: 内田啓一, 石岡康明, 國松和司, 杉野紀幸, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

第4大臼歯の2例: 大木絵美, 内田啓一, 杉野紀幸, 石岡康明, 高谷達也, 金子圭子, 森 こそ恵, 藤井健男, 石原裕一, 富田美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

自然排出した耳下腺唾石と思われる1例: 森 こそ恵, 内田啓一, 杉野紀幸, 石岡康明, 大木絵美, 高谷達也, 金子圭子, 藤井健夫, 石原裕一, 富田

美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

外歯瘻の観察に CT 検査が有用であった1例: 金子圭子, 内田啓一, 森 こそ恵, 杉野紀幸, 石岡康明, 大木絵美, 高谷達也, 藤井健男, 石原裕一, 富田美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

第23回日本歯科医学会総会 (福岡) 2016年10月

W9ペプチドは Osteoprotegerin 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する: 尾崎友輝, 小出雅則, 古屋優里子, 二宮 禎, 保田尚孝, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之, 吉成伸夫

松本歯科大学における歯周病学模型実習に対する学生評価の解析: 海瀬聖仁, 河谷和彦, 坂本 浩, 梅村昌孝, 吉成雅子, 上條博之, 三木 学, 内田啓一, 田口 明, 吉成伸夫

Er: YAG レーザー併用による歯周組織再生療法の検討: 窪川恵太, 三木 学, 岩井由紀子, 石岡康明, 高橋惇哉, 石田直之, 石原裕一, 吉成伸夫

第145回日本歯科保存学会秋季学術大会 (松本) 2016年10月

長野県上伊那地区における永久歯抜歯の原因調査: 橋本実樹, 花田隆周, 池上正資, 中塚敏弘, 矢島八郎, 吉成伸夫

第11回 JSP-JACP 合同研究会 (岐阜) 2016年11月
歯周組織の状態とフレイルの関連性に関する疫学研究: 中村 卓, 杉江美穂, 國松和司, 石原裕一, 吉成伸夫

歯周組織再生療法に対する Er: YAG レーザー併用の効果: 石原裕一, 窪川恵太, 吉成伸夫

歯周病治療の原則に従った広汎型中等度慢性歯周炎の1症例: 高橋惇哉, 佐故意介, 尾崎友輝, 中島香奈子, 國松和司, 石原裕一, 吉成伸夫

II型糖尿病を有する広汎型慢性歯周炎患者の1歯周病治療例: 中島香奈子, 海瀬由季, 海瀬聖仁, 小出麻衣子, 柳沢みさき, 野嶋翔美, 西窪結香, 國松和司, 石原裕一, 吉成伸夫

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会 (岡山) 2016年11月

近年増加傾向にある好酸球性副鼻腔炎の概要: 内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

若年者に発生した頬部蜂窩織炎の1例: 大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

上顎洞へ進展した含菌性嚢胞の1例: 小上尚也, 内田啓一, 大木絵美, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

第2回日本骨免疫学会ウインターセミナー (長野) 2017年1月

IL-1Ra 欠損マウスでは破骨細胞形成と炎症性骨吸収が亢進する: 石原裕一, 小出雅則, 吉成伸夫

第5回長野県歯科インプラントネットワークミーティング (長野) 2017年3月

教育講演 3. メインテナンス「インプラント周囲炎」: 石原裕一

第125回日本補綴歯科学会(金沢)2016年5月
各種口蓋床装着による舌圧と異物感の関係: 中村典正, 松山雄喜, 岡崎耕典, 菅生秀昭, 霜野良介, 平井博一郎, 中本哲自, 黒岩昭弘

第58回歯科基礎医学学術大会(札幌)2016年8月
2型糖尿病モデルマウスにおける唾液分泌能の解析: 宗政翔, 近藤祐介, 向坊太郎, 楠田優一郎, 宮城勇大, 柄慎太郎, 正木千尋, 中本哲自, 細川隆司

第33回日本障害者歯科学会学術大会(埼玉)2016年9月

超音波顕微鏡を用いた齶蝕の新しい評価法: 長沼由泰, 羽鳥弘毅, 高橋正敏, 猪狩和子, 佐々木啓一

5th Joint Meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan (Honolulu, Hawaii, USA) November 2016

Changes of masseter muscle in a rat unilateral occlusal model assessed by photoacoustic imaging system: Hatori K, Saijo Y, Iikubo M, Hagiwara Y, Izumita K, Naganuma Y and Sasaki K

10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia (東京)2015年5月

GFP Transplanted bone marrow-derived cell migration and differentiation into periodontal polyp in mice: Matsuda S, Matsuda A, Kida A, Moriyama K, Yokoi Y, Shoumura M and Osuga N

第54回日本小児歯科学会(東京)2015年5月
水溶性二酸化チタン溶液の小窩裂溝充填材への応用一ぬれ性についての検討一: 横井由紀子, 山川洋子, 山川祐喜子, 松田紗衣佳, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人

第54回日本小児歯科学会(東京)2015年5月
系統的脱感作法を用いて咬合誘導を行った症例: 森山敬太, 松田紗衣佳, 横井由紀子, 水島秀元, 正村正仁, 大須賀直人

第35回日本小児歯科学会中部地方会(東京)2015年5月

成長期骨格性反対咬合における筋機能訓練装置の及ぼす影響とその効果: 山川祐喜子, 山川洋子, 高谷達夫, 横井由紀子, 大須賀直人

第27回日本スポーツ歯科医学会(愛知)2016年6月

PALAJET SYSTEM はシリコン製マウスガードの作製に有効か? 物理・機械的試験による検討: 鷹股哲也, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 三溝恒幸, 北澤富美, 谷内秀寿, 笠原隼男, 大東史奈, 米田絃一, 正村正仁, 大須賀直人

第27回日本スポーツ歯科医学会(愛知)2016年6月

CAD/CAM を応用したスポーツフェイスガード製

作法硬質シェルの造形法: 三溝恒幸, 北澤富美, 谷内秀寿, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 正村正仁, 大須賀直人, 大東史奈, 栢本大祐, 鷹股哲也

第27回日本スポーツ歯科医学会(愛知)2016年6月

チェックバイトワックスを応用したシリコンラバー製マウスガードの製作コア法によるハーフデスマウスガード: 北澤富美, 三溝恒幸, 谷内秀寿, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 正村正仁, 大須賀直人, 大東史奈, 栢本大祐, 鷹股哲也

第59回日本口腔科学会中部地方会(長野)2015年9月

吸収性縫合糸に対するラットにおける組織反応の病理組織学的検討: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

第59回日本口腔科学会中部地方会(長野)2015年9月

骨髄間葉細胞由来の血管内皮細胞の実験的コレステリン肉芽腫における増殖: 松田紗衣佳, 中野敬介, 正村正仁, 大須賀直人, 落合隆永, 辻極秀次, 長塚仁, 長谷川博雅, 川上敏行

13th Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月

Cell migration and differentiation of BMDCS into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T

第35回日本小児歯科学会中部地方会(長野)2015年10月

コレステリン肉芽腫構成細胞の骨髄間葉細胞からの供給: 松田紗衣佳, 横井由紀子, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人, 松田厚子

第35回日本小児歯科学会中部地方会(長野)2015年10月

成長期骨格性反対咬合における筋機能訓練装置の及ぼす影響とその効果: 山川祐喜子, 山川洋子, 高谷達夫, 横井由紀子, 大須賀直人

第35回日本小児歯科学会中部地方会(長野)2015年10月

吸収性縫合糸のラット皮下における組織反応: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会(第22回)2016年9月

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭の付着物は淡か? 免疫染色による検討: 宮原康太, 篠塚功一, 脇本仁奈, 落合隆永, 島田勝光, 配島弘之, 長谷川博雅, 小笠原 正

日本障害者歯科学会(第33回)2016年9月

重症心身障害児・者にみられる臼歯部歯肉形態異常の発現頻度と各項目との関連性: 脇本仁奈, 伊沢正行, 山田晋司, 穂坂一夫, 薦田 智, 鈴木尚子,

安東信行, 西山孝宏, 岡田尚則, 岡田芳幸, 齋島弘之, 小笠原 正

喉頭の垂直的位置の加齢変化—簡易法を用いた計測—: 齋島弘之, 磯野員達, 鈴木貴之, 三井達久, 脇本仁奈, 河瀬瑞穂, 河瀬総一郎, 山田晋司, 牧井覚万, 岡田芳幸, 小笠原 正

第23回日本歯科医歯学会総会 (福岡) 2016年10月

Effects of Herb Paste on Gingivitis and Periimplant Mucositis: Otogoto J, Kato N, Aoyagi K, Kubota Y, Kosaka S, Matsuzawa C, Yamamoto, T, Suzuki M, Watanabe S and Hamada N

第9回日本総合歯科学会学術大会 (岡山) 2016年11月

重度慢性歯周炎患者に対する臨床研修歯科医師による歯周治療症例: 金子圭子, 脇本仁奈, 大木絵美, 小上尚也, 伊能利之, 高谷達夫, 音琴淳一, 藤井健男
若年者に発生した頬部蜂窩織炎の1例: 大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 伊能利之, 高谷達夫, 金子圭子, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

上顎洞へ進展した含菌性嚢胞の1例: 小上尚也, 内田啓一, 大木絵美, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

特別講演

第22回九州臨床再生歯科研究会 2016年1月

う蝕細菌 *Streptococcus mutans* の新たな病原性因子: 吉田明弘

講演

在宅歯科保健医療研修事業第2回研修会 (伊那) 2016年7月

インプラント周囲炎への配慮と対処: 吉成伸夫

松本歯科大学市民公開講座「口の健康維持」でめぐる地域の健康寿命延伸 (松本) 2016年7月

健康長寿のための歯周病治療: 吉成伸夫

松本社会保険委員会研修会 (松本) 2016年7月

歯周病と生活習慣病の関連性から健康長寿を考える: 吉成伸夫

アメリカ口腔インプラント学会マキシコース (名古屋) 2016年8月

安全なインプラント治療のための歯周病学: 吉成伸夫

平成28年度名城大学薬学部卒業後教育講座卒業後教育委員会 (薬学部・薬学部同窓会共催) (名古屋) 2016年8月

超高齢社会における歯周病治療の役割—健康長寿に働く歯周病治療—: 石原裕一

第22回愛知学院大学歯学部・朝日大学歯学部・松本歯科大学岐阜県支部合同学術講演会 (岐阜) 2016

年10月

歯周治療・歯内療法における最近のトピックス: 石原裕一

第88回信毎健康フォーラム (松本) 2016年11月

「歯の健康」歯の病気をめぐって: 石原裕一

愛知学院大学歯学部スキー部講演会 (名古屋)

2017年2月

歯周組織破壊における IL-1Ra の役割と治療薬への可能性: 石原裕一

サテライトシンポジウム The 30th Salivary Research Colloquium “Salivary glands: an unique and valuable experimental system”: 近藤 祐介, 中本哲自, 向坊太郎, 宗 政翔, 楠田優一郎, 宮城勇大, 柄 慎太郎, 正木千尋, 細川隆司

松本歯科大学市民公開講座 (松本) 2016年6月

第4回ニールスステンセン記念国際唾液腺シンポジウム (愛知) 2016年11月

Analysis of electrolyte and water transport by the ex vivo mouse submandibular gland perfusion technique in genetically modified mice: Nakamoto T

こどもの健康週間 (長野) 2016年10月

小児歯科診療に於ける最近の動向: 大須賀直人, 正村正仁

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

吉田明弘, 宇田川信之, 田口 明, 吉成伸夫, 宮崎秀夫, 安細敏弘, 岩崎正則: モロッコ王国における侵襲性歯周炎の発症を制御する因子の細菌・免疫学的解析 (基盤研究 B・海外学術)

安細敏弘, 岩崎正則, 吉田明弘, 宮崎秀夫, 邵仁浩, 角田聡子, 酒井理恵, 福原雅代: 北アフリカをモデルとする地中海食の侵襲性歯周炎への効果の解明に向けたコホート研究 (基盤研究 B・海外学術)

邵 仁浩, 栗野秀慈, 吉田明弘, 馬場園 明, 安細敏弘: マルチレベル分析を利用した乳幼児う蝕罹患の地域格差をもたらす社会的決定要因の解明 (基盤研究 C)

石原裕一, 小出雅則, 吉成伸夫: クロフィブラートの IL-1Ra 産生と実験的歯周炎抑制効果に関する研究 (基盤研究 C・平成27~29年度: 1,950千円)

吉田康夫, 石原裕一: 歯周病原細菌の産生する短鎖脂肪酸が病原性に与える影響の解明と制御 (基盤研究 C・平成26~28年度: 780千円)

吉江弘正, 高柴正悟, 永田俊彦, 三谷章雄, 石原裕一, 小林哲夫, 木戸淳一, 大森一弘: 歯周炎・糖尿病・リウマチの共通リスクサイトカイン遺伝子の解明 (基盤研究 A・平成25~28年度: 6,400千円)

吉成伸夫, 小出雅則, 田口 明: 血清アミロイド A を介した歯周病から動脈硬化症悪化機序に対する老化への影響 (基盤研究 C・平成26~28年度: 1,820

千円)

吉田明弘, 宮崎秀夫, 吉成伸夫, 田口 明, 宇田川信之, 安細敏弘, 岩崎正則: モロッコ王国における侵襲性歯周炎の発症を制御する因子の細菌・免疫学的解析 (基盤研究 B・平成27年度: 4,550千円)

田口 明, 三木 学, 吉成伸夫, 東 幸仁, 浅野晃: 口腔顎顔面のエックス線画像指標を統合した新規骨粗鬆症スクリーニングシステムの構築 (基盤研究 C・平成27~29年度: 2,470千円)

岡田芳幸, 吉成伸夫, 田口 明: 歯周疾患に関わる頸動脈硬化症が中枢性血圧反射感受性に与える影響 (基盤研究 C・平成27~29年度: 3,250千円)

中村浩志, 定岡 直, 大須賀直人, 宇田川信之, 八上公利, 中村美どり: 植物由来低分子ポリフェノールの骨代謝改善作用 (基盤研究 C)

八上公利, 中村浩志, 定岡 直, 川原一郎: ナノアパタイトとショートコラーゲンによるドラッグデリバリーシステム人工骨の開発 (基盤研究 C)

中村美どり, 宇田川信之, 中村浩志, 中道裕子, 溝口利英, 大須賀直人: 硬組織再生におけるヒト歯髄細胞の有用性に関する研究 (基盤研究 C)

正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行, 辻極秀次, 中野敬介, 長塚 仁: 象牙質・歯髄複合体の修復反応における骨髄間葉系細胞の関与 (基盤研究 C)

その他の研究補助金による研究

石原裕一: 歯周病がアルツハイマー病の分子病態ならびに認知機能障害を憎悪させる機序の解明 (長寿医療研究開発費26~21・平成28年度: 500千円)

健康増進口腔科学講座

口腔健康政策学

著 書

矢ヶ崎 雅, 富田美穂子, 牧 茂 (2016) 社会歯科学—演習問題, MDU 出版, 塩尻

論文発表

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. I Journal of Medical Science 13 : 500-6

Basri R, Alam MK, Imanishi T, Ping SY, Idrus ZMMS, Rahman HA, Shoumura M and Osuga N (2016) Functional ability of masticatory muscles in treated mandibular fracture cases using surface

electromyography (sEMG). J Hard Tissue Biology 25 : 427-30

Matusuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal ligament inflammatory lesions. I Journal of Dentistry and Oral Science 13 : 500-6

Ohigashi S, Samizo T, Takamata T, Kagiya S, Sasayama C, Kasahara T, Kitazawa F, Taniuchi H, Shoumura M, Osuga N and Tsuchida M (2016) Fabrication of sports mouthguards from silicon rubber using the palajet injection system. The Int J of Sports Dent 9 : 72-81

Sakai K, Nakano K, Matsuda S, Tsujigiwa H, Ochai T, Shoumura M, Osuga N, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Pathological analysis of cell differentiation in cholesterol granulomas experimentally induced in mice. International Journal of Medical Sciences 13 : 220-4

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and Kagami H (2016) Discontinuation of simvastatin lead to a rebound phenomenon and result in immediate peri-implant bone loss. Clin Exp Dent Res 2 : 65-72

宮原康太, 小笠原 正, 篠塚功一, 岩崎仁史, 松村康平, 岡田芳幸, 靛島弘之, 藤田恵未, 角 保徳 (2016) ジェルタイプの保湿剤を用いた介助歯磨き後の唾液中細菌数の増減. 日本障害者歯科学雑誌 37 : 16-21

篠塚功一, 小笠原 正, 岩崎仁史, 磯野員達, 轟かほる, 岡田芳幸, 靛島弘之, 沈 發智, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 経管栄養の要介護者にみられる咽頭付着物の形成要因. 障害者歯科 37 : 22-7

三井達久, 小笠原 正, 磯野員達, 鈴木智子, 伊沢正行, 鈴木貴之, 靛島弘之, 岡田芳幸 (2016) 亜酸化窒素吸入鎮静法における臨床症状の発現時間歯科治療前の吸入時間は何分必要か? 障害者歯科 37 : 127-33

守谷恵未, 松山美和, 犬飼順子, 道脇幸博, 岩淵博史, 小笠原 正, 松尾浩一郎, 角 保徳 (2016) 口腔ケア時の誤嚥予防の試み 口腔ケア用ジェルの新規開発. 日本老年医学会雑誌 53 : 347-53

岩崎仁史, 小笠原 正, 篠塚功一, 轟かほる, 小澤 章, 岡田芳幸, 靛島弘之, 沈 發智, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 口腔の剥離上皮膜に対する保湿剤の予防効果の検討. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌 20 : 86-93

Mimura H, Takaya T, Matsuda S, Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T and Kawakami T (2016) Functional role of HSP47 in

the periodontal ligament subjected to occlusal overload in mice. *Int J Med Sci* 13 : 248–54

大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 藤井健夫, 田口 明 (2016) 抜歯により発生した広範囲な皮下縦隔気腫の1例. *日総合歯会誌* 8 : 70–3

内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 富田美穂子, 藤井健夫, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明 (2016) 病理組織学的に側方性歯周嚢胞と診断された1例. *日総合歯会誌* 8 : 74–7

Yagami K, Sadaoka S, Nakamura H, Komatsu S, Onodera J, Suzuki M and Kuboki Y (2016) Atelocollagen enhanced osteogenesis in a geometric structured Beta-TCP scaffold by VEGF induction. *J Tissue Sci Eng.* 7 : 162. doi: 10.4172/2157-7552

学会発表

10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia (東京) 2015年5月

GFP Transplanted bone marrow-derived cell migration and differentiation into periodontal polyp in mice: Matsuda S, Matsuda A, Kida A, Moriyama K, Yokoi Y, Shoumura M and Osuga N

第54回日本小児歯科学会 (東京) 2015年5月

水溶性二酸化チタン溶液の小窩裂溝充填材への応用一ぬれ性についての検討一: 横井由紀子, 山川洋子, 山川祐喜子, 松田紗衣佳, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人

第54回日本小児歯科学会 (東京) 2015年5月

系統的脱感作法を用いて咬合誘導を行った症例: 森山敬太, 松田紗衣佳, 横井由紀子, 水島秀元, 正村正仁, 大須賀直人

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (東京) 2015年5月

第27回日本スポーツ歯科医学会 (愛知) 2016年6月

PALAJET SYSTEM はシリコーン製マウスガードの作製に有効か? 物理・機械的試験による検討: 鷹股哲也, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 三溝恒幸, 北澤富美, 谷内秀寿, 笠原隼男, 大東史奈, 米田紘一, 正村正仁, 大須賀直人

第27回日本スポーツ歯科医学会 (愛知) 2016年6月

CAD/CAM を応用したスポーツフェイスガード製作法硬質シェルの造形法: 三溝恒幸, 北澤富美, 谷内秀寿, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 正村正仁, 大須賀直人, 大東史奈, 栢本大祐, 鷹股哲也

第27回日本スポーツ歯科医学会 (愛知) 2016年6月

チェックバイトワックスを応用したシリコーンラ

バー製マウスガードの製作コア法によるハーフデ
マウスガード: 北澤富美, 三溝恒幸, 谷内秀寿, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 正村正仁, 大須賀直人, 大東史奈, 栢本大祐, 鷹股哲也

第59回日本口腔科学会中部地方会 (長野) 2015年9月

吸収性縫合糸に対するラットにおける組織反応の病理組織学的検討: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

第59回日本口腔科学会中部地方会 (長野) 2015年9月

骨髄間葉細胞由来の血管内皮細胞の実験的コレステリン肉芽腫における増殖: 松田紗衣佳, 中野敬介, 正村正仁, 大須賀直人, 落合隆永, 辻極秀次, 長塚仁, 長谷川博雅, 川上敏行

13th Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine EAOM, Torino, Italy 2016年9月

Cell Migration and Differentiation of BMDCS into Periodontal Polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2015年10月

コレステリン肉芽腫構成細胞の骨髄間葉細胞からの供給: 松田紗衣佳, 横井由紀子, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人, 松田厚子

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2015年10月

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2015年10月

吸収性縫合糸のラット皮下における組織反応: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人

23rd International "Stress and Behavior" Neuroscience and Biopsychiatry Conference, St. Petersburg, Russia 2016年3月

The reduction of pain stress by using music: Tomida M, Furuta T, Uchikawa R, Tsuchiya S, Kawahara I, Sadaoka S, Ueno K, Uchida K and Yagasaki T

13th Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine, Torino, Italy 2016年9月

Effect of music on the pain thresholds and nervous activity: Tomida M, Furuta T, Uchikawa R, Tsuchiya S, Kawahara I, Sadaoka S, Ueno K, Uchida K and Yagasaki T

第29回日本口腔診断学会学術大会 2016年9月

第4大臼歯の2例: 大木絵美, 内田啓一, 杉野紀幸, 石岡康明, 高谷達也, 金子圭子, 森 こそ恵, 藤井健夫, 石原裕一, 富田美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

自然排出した耳下腺唾石と思われる1例: 森

こず恵, 内田啓一, 杉野紀幸, 石岡康明, 大木絵美, 高谷達也, 金子圭子, 藤井健夫, 石原裕一, 富田美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

外歯瘻の観察にCT検査が有用であった1例: 金子圭子, 内田啓一, 森 こず恵, 杉野紀幸, 石岡康明, 大木絵美, 高谷達也, 藤井健夫, 石原裕一, 富田美穂子, 國松和司, 吉成伸夫, 田口 明

二次的に嚢胞性変化を認めた下顎線維性異形成症の1例: 森 啓, 内田啓一, 落合隆永, 杉野紀幸, 石原裕一, 富田美穂子, 吉成伸夫, 田口 明

第9回日本総合歯科学会総会・学術大会 2016年11月

近年増加傾向にある好酸球性副鼻腔炎の概要: 内田啓一, 大木絵美, 小上尚也, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

若年者に発生した頬部蜂窩織炎の1例: 大木絵美, 内田啓一, 小上尚也, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

上顎洞へ進展した含菌性嚢胞の1例: 小上尚也, 内田啓一, 大木絵美, 伊能利之, 脇本仁奈, 藤井健男, 富田美穂子, 石原裕一, 吉成伸夫, 田口 明

第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 2016年7月

松本歯科大学病院臨床実習における医療面接の教育とその評価: 音琴淳一, 藤井健男, 大木絵美, 富田美穂子

松本歯科大学病院初診患者における臨床実習の協力動向調査: 大木絵美, 藤井健男, 音琴淳一, 小池千恵, 内田啓一, 富田美穂子, 長谷川博雅, 岡藤範正
第59回日本口腔科学会中部地方部会 2016年9月

歯科矯正学的メカニカルストレスによる歯周組織の改造: 金子圭子, 松田紗衣佳, 村岡里奈, 中野敬介, 富田美穂子, 辻極秀次, 長塚 仁, 川上敏行

実験的咬合性外傷部の歯根膜組織におけるHSP47の発現推移: 三村泰亮, 高谷達夫, 中野敬介, 松田紗衣佳, 富田美穂子, 岡藤範正, 藤井健男, 川上敏行

実験的咬合性外傷の歯根膜部における創傷と治療: 高谷達夫, 三村泰亮, 松田紗衣佳, 中野敬介, 辻極秀次, 富田美穂子, 岡藤範正, 藤井健男, 川上敏行

口腔粘膜の疼痛閾値と自律神経活動の関係: 古田紡, 富田美穂子

第65回日本口腔衛生学会・総会 2016年5月

歯周疾患に関する指標とう蝕活動性との関連性: 定岡 直, 川原一郎, 八上公利, 富田美穂子, 薦田智, 土屋総一郎

第58回歯科基礎医学会(札幌) 2016年8月

間葉系幹細胞におけるクロモグラニンAの発現と役割: 定岡 直, 八上公利, 川原一郎

第59回春季日本歯周病学会学術大会(鹿児島) 2016年5月

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支

部学術大会(東京) 2016年2月

再生骨移植局部の炎症サイトカインの経時的な変化に関する検討: 李 憲起, 千原隆弘, 古田浩史, 楊 静, 各務秀明

Korean Association for Disability and Oral Health 2016 2016年4月

The study of preventing the formation of membranous substances by using moisturizer in the oral cavity of elderly individuals with tube-feeding: Miyahara K, Iwasaki H, Shinotsuka K, Ishihara N, Higuchi Y, Izawa M, Okada Y, Haishima H, Shimada K, Ochiai T, Hasegawa H and Ogasawara T

日本老年歯科医学会(第27回) 2016年6月

経管栄養の要介護高齢者にみられる剥離上皮膜の由来: 宮原康太, 篠塚功一, 岩崎仁史, 伊沢正行, 岡田芳幸, 靛島弘之, 島田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 藤井 航, 柿木保明, 小笠原 正

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会(第22回) 2016年9月

経管栄養の要介護高齢者にみられる付着物の由来—痰と言われているが?—: 宮原康太, 篠塚功一, 脇本仁奈, 嶋田勝光, 落合隆永, 靛島弘之, 長谷川博雅, 小笠原 正

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例: 石原紀彰, 岩崎仁史, 井上恭代, 伊沢正行, 磯野員達, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

日本障害者歯科学会(第33回) 2016年9月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和に上田法は有効か? 第3報—筋緊張の経時的変化—: 伊沢正行, 望月慎恭, 宮原康太, 大岩隆則, 上出清恵, 佐々木隆子, 小柴慶一, 西連寺央康, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

笑気吸入鎮静による圧反射感受性への影響: 磯野員達, 岡田芳幸, 三井達久, 高井経之, 靛島弘之, 小笠原 正

障害者におけるOral Health Assessment Tool日本語版の有用性の検討: 岩崎仁史, 石原紀彰, 樋口雄大, 伊沢正行, 三井達久, 松村東栄, 岡田芳幸, 靛島弘之, 中川量晴, 松尾浩一郎, 小笠原 正

知的障害の意思決定支援の検討—全身麻酔と身体拘束は理解できるか—: 鈴木貴之, 大槻征久, 大槻真理子, 岩崎仁史, 岡田尚則, 望月慎恭, 小島広臣, 高井経之, 岡田芳幸, 靛島弘之, 緒方克也, 小笠原 正

笑気吸入鎮静法における臨床徴候発現時と自律神経調節との関連—直接測定と間接測定を併用して—: 三井達久, 樋口雄大, 磯野員達, 岩谷和夫, 河瀬聡一朗, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

口腔の剥離上皮膜がみられる患者にカンジダ菌は存在するか?—病理学的・細菌学的検討—: 宮原

康太, 篠塚功一, 石原紀彰, 松村康平, 久野 喬, 塚田久美子, 福澤雄司, 井上恭代, 副島之彦, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

喉頭の垂直的位置の加齢変化—簡易法を用いた計測—: 靛島弘之, 磯野員達, 鈴木貴之, 三井達久, 脇本仁奈, 河瀬瑞穂, 河瀬聡一朗, 山田晋司, 牧井覚万, 岡田芳幸, 小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭の付着物は何か?: 樋口雄大, 篠塚功一, 宮原康太, 轟かほる, 守谷恵未, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 藤井 航, 柿木保明, 大野友久, 角 保徳, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

印象体の効果的な洗浄についての検討: 三澤美幸, 田中春菜, 内田清美, 石原紀彰, 木村莉子, 那須小夢樹, 植松紳一郎, 三井達久, 三井理恵子, 三井貴信, 宮原康太, 渡部義基, 岩崎仁史, 岡田芳幸, 小笠原 正

重症心身障害児・者にみられる臼歯部歯肉形態異常の発現頻度と各項目との関連性: 脇本仁奈, 伊沢正行, 山田晋司, 穂坂一夫, 薦田 智, 鈴木尚子, 安東信行, 西山孝宏, 岡田尚則, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

当センターにおける障がい者歯科診療20年の動向と今後の課題: 清水久哉, 八尾正己, 木山力哉, 阪本博文, 小川真史, 小笠原 正

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟(第1報)—スペシャルスマイルズの活動概要—: 永井正志, 豊里 晃, 石黒千代栄, 山田亮子, 有松美紀子, 大島邦子, 島田路征, 大橋 誠, 小笠原 正, 江草正彦, 宮城 敦

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟(第2報)—第5回参加アスリートの口腔内状況との比較—: 豊里 晃, 永井正志, 石黒千代栄, 山田亮子, 有松美紀子, 大島邦子, 大橋 誠, 島田路征, 荒井節男, 小笠原 正, 江草正彦, 宮城 敦

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟(第3報)—ボランティアへのアンケート—: 大橋 誠, 永井正志, 豊里 晃, 石黒千代栄, 山田亮子, 有松美紀子, 大島邦子, 島田路征, 高橋靖之, 荒井節男, 小笠原 正, 江草正彦, 宮城 敦

北信越障害者歯科臨床研究会(第7回)2016年6月

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例: 石原紀彰, 伊沢正行, 鈴木貴之, 宮原康太, 岡田芳幸, 靛島弘之, 小笠原 正

中部歯科麻酔研究会(第51回)2016年6月

笑気吸入鎮静は圧受容器反射感受性を維持する: 磯野員達, 岡田芳幸, 三井達久, 小笠原 正

松本歯科大学学会(第82回)2016年7月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和のための非薬物的方法の検討: 伊沢正行, 宮原康太, 望月慎恭, 岡田芳幸, 靛島弘之, 増田裕次, 小笠原 正

疼痛時昇圧応答抑制に対する笑気吸入鎮静法の効果: 磯野員達, 岡田芳幸, 三井達久, 増田裕二, 小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる口腔の剥離上皮膜と咽頭の付着物の由来: 宮原康太, 篠塚功一, 岩崎仁史, 鈴木貴之, 伊沢正行, 嶋田勝光, 落合隆永, 岡田芳幸, 靛島弘之, 長谷川博雅, 小笠原 正

インプラント歯頸部閉鎖の問題の新しい解決法—歯肉統合—: 八上公利, 定岡 直, 久保木芳徳, 古澤利武, 飴谷 彰

第58回歯科基礎医学会(札幌)2016年8月

チタンの骨内定着の生化学メカニズム解明・インプラント蛋白の意義と応用: 久保木芳徳, 古澤利武, 八上公利

特別講演

第7回関東臨床障害者歯科研究会(甲府)2016年7月

「自閉スペクトラム症患者の行動調整—地域での見極め—»: 小笠原 正

第28回日本レーザー歯学会総会・学術大会(名古屋)2016年7月

「超高齢者・有病高齢者の歯科診療 リスクマネジメントとクライスマネジメント»: 小笠原 正

Official hearing in Taiwan(台北)2016年9月

「The specialist system in Japan's special needs dentistry»: 小笠原 正

The 20th General Assembly, 39th Annual Scientific Meeting and Dental Exhibition(台北)2016年9月

「The Japanese experience in oral health and care for the special needs from the past to the future»: 小笠原 正

第21回福岡県学校歯科保健研究大会(福岡)2016年11月

「学校歯科検診に必要な知識と対応»: 小笠原 正

講演会

京都市左京歯科医師会学術講演会(京都)2016年2月

明日からの臨床に役立つマウスガードの話: 正村 正仁

こどもの健康週間(長野)2016年10月

小児歯科診療に於ける最近の動向: 大須賀直人, 正村 正仁

長野県保険医協会（長野）2016年1月
 「歯援施設基準にかかる講習会」：小笠原 正
 平塚市高齢者歯科講演会（平塚）2016年2月
 「安全な訪問歯科診療」：小笠原 正
 文京区障害者歯科治療事業の協力医研修会（東京）
 2016年2月
 「障害者歯科における見極め」：小笠原 正
 塩筑医療と介護ネットワーク研究会（塩尻）2016
 年3月
 「摂食嚥下障害への対応」：小笠原 正
 長野県歯科医師会講演（塩尻）2016年3月
 「認知症患者に対する歯科診療」：小笠原 正
 中信支部歯科衛生士会（松本）2016年5月
 「院内感染防止対策～自分の体を守るために～」：
小笠原 正
 諏訪市歯科医師会学術部救急医療講習会 2016年
 6月
 「医療安全講習会」：小笠原 正, 磯野員達, 伊沢
 正行, 岩崎仁史, 三井達久
 香川県保険医協会（高松）2016年6月
 「院内感染防止対策, 医療安全」：小笠原 正
 新潟県歯科医師会認定障害者診療医養成事業アド
 バンスコース（新潟）2016年7月
 「スペシャルニーズのある人への歯科治療地域でで
 きること」：小笠原 正
 長野県保険医協会（長野）2016年7月
 「外来環講習会 院内感染, 医療事故, 緊急時の対
 応」：小笠原 正
 沖縄県障害者歯科地域協力医研修制度（沖縄）
 2016年7月
 「治療計画立案」：小笠原 正
 長野県歯科医師会講演（塩尻）2016年8月
 「在宅医療, 医療安全」：小笠原 正
 安曇野市歯科医師会講演（安曇野）2016年10月
 「院内感染, 緊急時対応」：小笠原 正
 松本歯科大学校友会山梨県支部（甲府）2016年10
 月
 「認知症の理解と対応」：小笠原 正
 香川県保険医協会（高松）2016年10月

「認知症の理解と歯科的対応」：小笠原 正
 鳥取県西部歯科医師会講演 2016年11月
 「障害者歯科のトピックス」：小笠原 正
 松本歯科大学校友会新潟県支部（新潟）2016年11
 月
 「要介護高齢者に対する訪問歯科診療のポイント」：小笠原 正
 山梨県歯科医師会障害者歯科センター講演（甲府）
 2016年11月
 「鎮静法の使い分けとメリット, デメリット, リス
 ク」：小笠原 正
 長野県保険医協会（長野）2016年12月
 「歯科訪問診療の在宅療養支援歯科診療所（歯援
 診）対応研修会」：小笠原 正
 大学・地域連携事業（塩尻）2016年1月
 平成27年度長野県女性薬剤師継続学習通信教育講
 座（松本）2016年2月
 「歯周病・歯科における薬の副作用」：八上公利

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

富田美穂子, 川上敏行, 寺田知新：ストレスによる
 生体反応が痛覚伝導路に与える影響（基盤研究C）
 川上敏行, 中野敬介, 富田美穂子, 辻極秀次：骨
 髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細
 胞分化の分子調節機構の解明（基盤研究C）
小笠原 正, 長谷川博雅, 落合隆永, 柿木保明：
 口腔乾燥の要介護高齢者における咽頭の汚染物の病
 態解明と予防法の確立（基盤研究C（代表研究者））
正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行, 辻極秀次, 中野
 敬介, 長塚 仁：象牙質・歯髄複合体の修復反応に
 おける骨髄間葉系細胞の関与（基盤研究C）

その他の研究補助金による研究

平成28年度長寿医療研究開発費
小笠原 正：要介護高齢者のQOL向上を目指し
 た口腔機能に関する研究